

講義コード	U821000101	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)1		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	飯田 道子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 西1-302.通年 月曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されたテキストを用いて、学んだ文法を授業内で実践できるようにしていきます。また、ドイツについてのさまざまな情報も取り入れていきたいと思っております。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、同時に意味内容のあるセンテンスを読み、書き、聴く力をバランス良く伸ばすことを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定 インTRODakション
第2回	第1課 動詞の現在人称変化
第3回	第2課 名詞の性/冠詞
第4回	第3課 名詞の複数形 定冠詞類/不定冠詞類
第5回	第3課 否定文
第6回	第4課 動詞の現在人称変化(2) 不規則動詞 命令文
第7回	第4課 動詞の現在人称変化(2) 不規則動詞 命令文
第8回	第5課 人称代名詞(2) 前置詞 並列接続詞
第9回	第5課 人称代名詞(2) 前置詞 並列接続詞
第10回	第6課 話法の助動詞 未来の助動詞
第11回	第6課 話法の助動詞 未来の助動詞
第12回	第7課 形容詞の格変化
第13回	第7課 形容詞の格変化
第14回	理解度の確認
第15回	ふりかえり
第16回	第8課 形容詞・副詞の比較変化
第17回	第8課 形容詞・副詞の比較変化
第18回	第9課 分離動詞と非分離動詞、動詞の3基本形、過去形
第19回	第9課 分離動詞と非分離動詞、動詞の3基本形、過去形
第20回	第10課 現在完了形、縦続接続詞
第21回	第10課 現在完了形、縦続接続詞
第22回	第11課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第23回	第11課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第24回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第25回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第26回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第27回	第13課 受動文
第28回	第13課 受動文
第29回	理解度の確認
第30回	ふりかえり

授業方

まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。ペア練習も多く行います。必要に応じて試験を行い、理解度の確認をしていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その週に習った基本事項の復習をするようにしてください。和訳、練習問題などの宿題が出された場合は、きちんと学習してきてく

ださい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への積極的な参加度を重視します。授業開始30分以降の入室は、特別な場合を除き、出席とみとめません。全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内にできるかぎりフィードバックします。

教科書

プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版],神竹道士 他,白水社,978-4-560-06432-0

講義コード	U821000102	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)2		
副題	ドイツ語の仕組みを学ぶ		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1-109.通年 火曜日 3時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の文法システムに関する基礎知識を学び、ドイツ語による情報の受信・発信の能力の基本を養う事を目的とする。

到達目標

ドイツ語の文法構造について理解し、ドイツ語を利用するための基礎を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、挨拶の言葉
第2回	つづりと発音 --- 母音の発音、ドイツ語特有の文字と発音 ---品詞分類 他
第3回	つづりと発音 --- 子音の発音 ---Lektion 1 人称代名詞と動詞の現在人称変化(導入)
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(1) 文の作り方 --- 平叙文と疑問文 ---
第5回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(1)[続]文の作り方 --- 疑問詞と疑問文 ---
第6回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(2) 名詞の文法上の性と人称代名詞
第7回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(2)[続]名詞の文法上の性と人称代名詞、定冠詞と不定冠詞
第8回	Lektion 2 数詞、名詞と冠詞類の格変化
第9回	Lektion 3 冠詞類と人称代名詞
第10回	Lektion 3 男性弱変化名詞、名詞の複数形、人称代名詞の格変化
第11回	Lektion 4 前置詞概説、名詞の格と前置詞の結び付き、3 格と共に用いられる前置詞、4 格と共に用いられる前置詞
第12回	Lektion 4 3 格及び 4 格と共に用いられる前置詞、2 格と共に用いられる前置詞
第13回	Lektion 4 前置詞と定冠詞語尾との融合形 他
第14回	第1学期の学習項目のまとめと補足
第15回	第1学期の学習項目の理解度確認
第16回	第1学期期末試験 --- 解答と解説 ---
第17回	Lektion 5 命令法と命令文
第18回	Lektion 5 動詞の人称変化 --- 命令法 他 ---、文の作り方 --- 主文と従属文 ---
第19回	Lektion 5 補足(wissen と kennen)Lektion 6 話法の助動詞とそれを用いた文の作り方
第20回	Lektion 6 知覚・使役表現、再帰表現、非人称表現
第21回	Lektion 7 形容詞の使い方、比較表現
第22回	Lektion 7 日付、形容詞の名詞的用法
第23回	Lektion 8 前つづりの付いた動詞
第24回	Lektion 8 補足とまとめ(前つづり 3 種)Lektion 9 完了形について
第25回	Lektion 9 完了形について(補足)、過去形について、動詞の人称変化形
第26回	Lektion 9 動詞の人称変化形について(まとめ)Lektion 10 zu 不定詞句
第27回	Lektion 11 指示代名詞と関係代名詞
第28回	Lektion 12 受動態と受動表現
第29回	Lektion 12 受動態と受動表現(2)、まとめと補足
第30回	学習理解度の確認

授業方

講義(場合によっては Webclass か Mail で課題等の受け渡しを行うこともある)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回きちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却

教科書

CD で学ぶドイツ語入門 改訂版,三瓶 慎一,白水社,2006

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

講義コード	U821000103	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)3		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西2-306.通年 火曜日 3時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の文法を丁寧に学習し練習問題をこなすことで文法の基礎をしっかりと身につけます。第2学期はドイツ語の構造や特性を十分に理解することを目指します。

到達目標

ドイツ語の文法・文構造の基礎をひと通り学び理解することにより、辞書を用いれば比較的平易なドイツ語の文章を読解・作文できるようになる。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|----------------------------|
| 第1回 | ガイダンス、アルファベット、発音 |
| 第2回 | Lektion 1 動詞の現在人称変化(I) |
| 第3回 | Lektion 1 動詞の現在人称変化(I) |
| 第4回 | Lektion 2 動詞の現在人称変化(II) |
| 第5回 | Lektion 2 並列の接続詞 |
| 第6回 | Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 |
| 第7回 | Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 |
| 第8回 | Lektion 4 名詞の複数形 |
| 第9回 | Lektion 4 人称代名詞 |
| 第10回 | Lektion 5 不定冠詞類 |
| 第11回 | Lektion 5 定冠詞類 |
| 第12回 | Lektion 6 動詞の現在人称変化(III) |
| 第13回 | Lektion 6 命令形 |
| 第14回 | 理解度の確認 |
| 第15回 | 第1学期振り返り |
| 第16回 | Lektion 7 話法の助動詞 |
| 第17回 | Lektion 7 未来形 |
| 第18回 | Lektion 8 前置詞 |
| 第19回 | Lektion 8 再帰代名詞・再帰動詞 |
| 第20回 | Lektion 9 分離動詞・非分離動詞 |
| 第21回 | Lektion 9 zu不定詞句・従属の接続詞 |
| 第22回 | Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形 |
| 第23回 | Lektion 10 現在完了形 |
| 第24回 | Lektion 11 3基本形(II) |
| 第25回 | Lektion 11 受動態 |
| 第26回 | Lektion 12 形容詞の変化 |
| 第27回 | Lektion 12 比較 |
| 第28回 | Lektion 12 関係代名詞 |
| 第29回 | 理解度の確認 |
| 第30回 | 第2学期振り返り |

授業方

文法を簡潔に説明したのち各自練習問題に取り組んでもらいます。受講者の理解度を確認しながら進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業内容についての理解度をみずから確認する(30分)。
指示された箇所を暗記する(30分)。

練習問題などの宿題に取り組む(30分)。
例文などを読み発音に慣れる(20分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(出席、クラス参加など):15% 定期試験以外に・小テスト・提出課題・授業に臨む姿勢(予習、練習問題への取り組み姿勢など)なども評価の対象とします。なお全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題・小テストは次回までにチェックをして返却します。学期末試験は返却し解説を行います。

教科書

ゲナウ！ グラマティック ノイ,新倉真矢子他,第三書房,5,2022,9784808610494

参考文献コメント

(初回の授業で指示する)独和辞典は必ず持参してください。

講義コード	U821000104	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)4		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	川口 眞理		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1-106.通年 木曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語Cが聴解練習や会話練習が中心であるのに対し、ドイツ語Bでは言語としての仕組み＝初級文法の理解と定着を目指し、今後のすべてのドイツ語学習に応用できる基礎力を養います。

到達目標

初級ドイツ語文法を体系的に理解し、900語程度の語彙力を習得し、自力で簡単なテキストを読み、平易な文をドイツ語で発信する力(ドイツ語検定4～3級レベル)を身に付けることができます。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|----------------------------|
| 第1回 | 辞書について アルファベット |
| 第2回 | 文字と発音－母音と子音 |
| 第3回 | 動詞の現在人称変化 語順 |
| 第4回 | seinとhaben |
| 第5回 | 名詞の性・定冠詞 |
| 第6回 | 不定冠詞 |
| 第7回 | 複数形・否定冠詞 |
| 第8回 | 不規則動詞 |
| 第9回 | 命令形・定冠詞類 |
| 第10回 | 不定冠詞類 |
| 第11回 | 人称代名詞 |
| 第12回 | 前置詞 2格・3格・4格支配 |
| 第13回 | 前置詞 3・4格支配 |
| 第14回 | 理解度の確認・第1学期末試験(授業内試験) |
| 第15回 | 振り返り・まとめ |
| 第16回 | 分離動詞 非分離動詞 |
| 第17回 | 再帰動詞 |
| 第18回 | 形容詞(比較表現) |
| 第19回 | 形容詞(付加語的用法)・話法の助動詞 |
| 第20回 | 話法の助動詞・未来形 |
| 第21回 | zu不定詞句 |
| 第22回 | 理解度の確認・第2学期中間試験(授業内試験) |
| 第23回 | 従属の接続詞 |
| 第24回 | 動詞の三基本形・過去形 |
| 第25回 | 現在完了形 |
| 第26回 | 受動態(動作受動) |
| 第27回 | 受動態(状態受動・自動詞の受動) |
| 第28回 | 定関係代名詞 |
| 第29回 | 不定関係代名詞 |
| 第30回 | 理解度の確認・第2学期末試験(定期試験期間中の試験) |

授業計画コメント

授業進度は目安です。文法解説のあと、確認練習⇒作文という流れで進めていきます。

授業方

対面授業が基本ですが、新型コロナ等の事情で授業の一部がオンデマンド授業に切り替わる場合もあります。その際は事前に通知します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

原則予習は必要ありませんが復習は必須です。毎回課題が出ます(1時間程度)。その際、ノートに手書きで全文を書き写し、ドイツ語音声を何度も聴き発音練習をしてください。新出語彙をその都度整理し覚えていく努力も必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	対面筆記試験
学年末試験(第2学期)	25 %	対面筆記試験
中間テスト	25 %	対面筆記試験
レポート	10 %	夏休み課題(単語・復習問題)
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	課題提出の回数と内容
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点とレポートで30%、年3回の試験の結果70%で評価します。正当な理由のない欠席が各期の授業の三分の一を超えると期末試験の受験資格を失います。遅刻は2回で1回の欠席となります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は次回の対面授業ないしパワーポイント資料内で解説の上、解答を提示します。第1学期末試験と第2学期中間試験は講評の上返却します。第2学期末試験は返却されません。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール CD付,上野成利/本田雅也,白水社,三訂,2018,9784560064207

その他

1年間で初級文法のほぼ一通りを学びますので、進度は早いです。毎回の出席とその都度の復習が大切です。遅刻は2回で1回の欠席と見なします。新型コロナ罹患など、出席が困難な状況が続く場合は速やかに相談してください。学期末になってからのいきなりの相談には原則応じられません。

講義コード	U821000105	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)5		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-104.通年 木曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語を運用する際、必要となる文法事項の解説、確認を行います。

到達目標

ドイツ語の文法の基礎を理解し、それを習得することにより、ドイツ語を運用できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|---------------------|
| 第1回 | ガイドンス、ドイツ語の文字と発音(1) |
| 第2回 | ドイツ語の文字と発音(2) |
| 第3回 | 人称代名詞と動詞の現在人称変化(1) |
| 第4回 | 人称代名詞と動詞の現在人称変化(2) |
| 第5回 | 名詞の性と格(1) |
| 第6回 | 名詞の性と格(2)、複数形 |
| 第7回 | 定冠詞類 |
| 第8回 | 不定冠詞類 |
| 第9回 | 否定冠詞 |
| 第10回 | 人称代名詞の格変化 |
| 第11回 | 非人称の es |
| 第12回 | 不規則動詞 |
| 第13回 | 命令形 |
| 第14回 | 前置詞(1) |
| 第15回 | まとめ |
| 第16回 | 前置詞(2) |
| 第17回 | 分離動詞 |
| 第18回 | 接続詞 |
| 第19回 | 話法の助動詞、未来形(1) |
| 第20回 | 話法の助動詞、未来形(2) |
| 第21回 | 動詞の3基本形、過去(1) |
| 第22回 | 動詞の3基本形、過去(2) |
| 第23回 | 現在完了形 |
| 第24回 | 受動文 |
| 第25回 | 形容詞の用法 |
| 第26回 | 比較表現 |
| 第27回 | 再帰代名詞 |
| 第28回 | zu 不定詞 |
| 第29回 | 関係代名詞 |
| 第30回 | まとめ |

授業方

講義ならびに演習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読み、不明な事柄の有無を確認してください。
また、練習問題の解答を考えてみてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、課題提出および課題によって確認される理解度がポイントとなります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて返却します。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法[改訂版],萩原耕平 山崎泰孝,白水社,2019,9784560064245

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向けとしては以下の辞書があります。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

講義コード	U821000106	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)6		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石井 寿子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 西2-204.通年 金曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語初級文法の基盤を習得します。

到達目標

基本的なドイツ語の文法事項を一通り網羅し、簡単な文を作れ、理解できるようにします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	Lektion 1 発音
第3回	Lektion 2 数詞
第4回	Lektion 3 動詞の現在人称変化(1)
第5回	Lektion 3 動詞の現在人称変化(2)
第6回	Lektion 4 強変化動詞
第7回	Lektion 5 名詞の格変化
第8回	Lektion 5 複数形
第9回	Lektion 6 冠詞類
第10回	Lektion 7 人称代名詞
第11回	Lektion 8 話法の助動詞
第12回	Lektion 9 前置詞
第13回	Lektion 10 複合動詞・命令形
第14回	第1学期のまとめ(筆記試験)
第15回	第1学期のおさらい(解説)
第16回	前期の学習の見直し
第17回	Lektion 11 形容詞の格変化
第18回	Lektion 12 動詞の3要形
第19回	Lektion 12 動詞の過去人称変化
第20回	Lektion 13 現在完了
第21回	Lektion 14 接続詞
第22回	Lektion 15 関係代名詞
第23回	Lektion 16 zu 不定詞
第24回	Lektion17 再帰代名詞
第25回	Lektion 18 受動
第26回	Lektion 19 形容詞の比較表現
第27回	Lektion 20 接続法
第28回	第2学期の復習
第29回	第2学期のまとめ(筆記試験)
第30回	第2学期のおさらい(解説)

授業計画コメント

毎回1課ずつのペースで進めていきます。

授業方

各課教科書で文法のポイントを押さえ、練習問題で応用し使えるようにします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

課題となった練習問題は必ずやってくること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

筆記試験と平常点を合わせ60点以上を合格とします。3分の2以上の出席を試験を受けられる資格とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習問題と筆記試験は答え合わせと解説をして、どこが間違っていたか、何が理解できていないかを把握できるようにします。

教科書

ドイツ文法へのやさしい離陸,石井寿子,朝日出版社,最新,2001,4-255-25223-8 C1984

参考文献コメント

独和辞典(電子辞書も可)

その他

manabaのスレッドで連絡をとれるようにします。

講義コード	U821000107	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)7		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 西1-104.通年 土曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。ドイツ語文法の基礎を一通り学びます。

到達目標

ドイツ語の基礎文法を学び、活用できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定。授業の進行についてのガイダンス。ドイツ語の文字や発音についての説明。
第2回	動詞の現在人称変化(1)・定動詞の位置
第3回	名詞の性・複数形・格
第4回	動詞の現在人称変化(2)
第5回	前置詞の格支配(1)
第6回	定冠詞類の格変化
第7回	前置詞の格支配(2)
第8回	不定冠詞類の格変化
第9回	分離動詞・非分離動詞
第10回	人称代名詞・命令形
第11回	話法の助動詞
第12回	未来形
第13回	再帰代名詞・再帰動詞
第14回	前期学習内容理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	前期学習事項の復習
第17回	副文
第18回	形容詞の格変化
第19回	zu不定詞・zu不定詞句
第20回	形容詞の名詞化
第21回	動詞の3基本形と過去形
第22回	動詞の3基本形と過去形
第23回	完了形
第24回	完了形
第25回	比較
第26回	関係代名詞
第27回	受動文
第28回	既習事項の復習
第29回	後期学習内容理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

第1学期は教科書1～7課、第2学期は8課～15課を学ぶ予定です。履修者の理解度によって進度は変更します。

授業方

授業では新出文法事項の説明を行います。教科書にはその文法事項を用いた練習問題があり授業中に答え合わせ・解説を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

準備学習(予習・復習)

毎回、授業内で指定された練習問題を解いてきてもらいます。これが復習になります。予習内容は適宜指示します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	全5回ほど
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学んだ内容が小テスト・試験で出題されます。
授業内で指名されて宿題をやっていなかった場合などに平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

ドイツ語文法の基礎[改訂版],成田節 / 櫻井麻美,同学社,2018,978-4-8102-0891-7

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,第4版,2021,978-4-384-06000-3

クラウン独和辞典,濱川祥枝,信岡資生,新田春夫,三省堂,第5版,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。特に指定はしませんが必ず辞書は買って下さい。店頭で実際に中身を見て、文字やレイアウトが見やすいと感じるものを使うとよいでしょう。

講義コード	U821000108	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)8		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 西1-107.通年 土曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語を運用する際、必要となる文法事項の解説、確認を行います。

到達目標

ドイツ語の文法の基礎を理解し、それを習得することにより、ドイツ語を運用できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語の文字と発音(1)
第2回	ドイツ語の文字と発音(2)
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2)
第5回	名詞の性と格(1)
第6回	名詞の性と格(2)、複数形
第7回	定冠詞類
第8回	不定冠詞類
第9回	否定冠詞
第10回	人称代名詞の格変化
第11回	非人称の es
第12回	不規則動詞
第13回	命令形
第14回	前置詞(1)
第15回	まとめ
第16回	前置詞(2)
第17回	分離動詞
第18回	接続詞
第19回	話法の助動詞、未来形(1)
第20回	話法の助動詞、未来形(2)
第21回	動詞の3基本形、過去(1)
第22回	動詞の3基本形、過去(2)
第23回	現在完了形
第24回	受動文
第25回	形容詞の用法
第26回	比較表現
第27回	再帰代名詞
第28回	zu 不定詞
第29回	関係代名詞
第30回	まとめ

授業方

講義ならびに演習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読み、不明な事柄の有無を確認してください。
また、練習問題の解答を考えてみてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、課題提出および課題によって確認される理解度がポイントとなります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて返却します。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法[改訂版],萩原耕平 山崎泰孝,白水社,2019,9784560064245

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向けとしては以下の辞書があります。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

講義コード	U821000109	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)9		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1-209.通年 木曜日 3時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。ドイツ語は英語と比べれば、文法上の例外が少ない言葉です。基礎をしっかりと身につけると、自分でドイツ語が自由に読めるようになります。「ドイツ語文法」と言うと堅く聞こえますが、「ドイツ語を読むコツ」と考えて、楽しく身につけましょう。教科書は「PANORAMA Deutsch」です。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されています。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、短いセンテンスを覚えながら、ドイツ語の基礎力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	第1回目の授業は、履修者の決定。ドイツ語の発音を勉強します。
第2回	第1課 動詞の現在人称変化
第3回	第2課 名詞の性/冠詞の格変化
第4回	第3課 不規則変化動詞/命令形
第5回	第3課 明日の予定を尋ねる
第6回	第4課 定冠詞類・不定冠詞類
第7回	第4課 買い物に行く(1)
第8回	第5課 複数形/人称代名詞
第9回	第5課 買い物に行く(2)
第10回	第6課 前置詞の格支配
第11回	第6課 週末の予定を尋ねる
第12回	第7課 形容詞の格変化
第13回	第7課 趣味について尋ねる
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	第8課 話法の助動詞/未来形
第17回	第9課 分離動詞/接続詞と副文
第18回	第9課 駅の窓口で尋ねる
第19回	第10課 zu不定詞/再帰代名詞
第20回	第10課 休暇の計画を尋ねる
第21回	第11課 動詞の3基本形/過去形
第22回	第11課 旅の体験を語る(1)
第23回	第12課 現在完了形/非人称表現
第24回	第12課 旅の体験を語る(2)
第25回	第13課 受動態/比較表現
第26回	第13課 意見を交換する(1)
第27回	第14課 関係代名詞・関係副詞
第28回	第14課 意見を交換する(2)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方

授業は、まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。

毎回宿題をだしますので、家で考えて、たくさんの「？」を持って授業に来てください。「？」が解決したとき、よく頭に入ります。ほぼ毎回、小テストをします。また各課の終わりにまとめテストをします。成績はまとめテストと普段の小テストでつけます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分程度、その週に習った文章を繰り返し暗記してください。基礎文章を長期記憶に定着させ、小テストに臨んでください。その他に、和訳、練習問題などの宿題を出しますので、準備をしてきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		対面形式が行えない場合は期末試験45%
学年末試験(第2学期)		対面形式が行えない場合は学年末試験45%
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10%(授業時の積極性とペア練習の参加態度)、毎回の小テストと各課のまとめテストを合計して90%です。全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後にフィードバックします。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[ver.3.0],上野成利、本田雅也,白水社,三訂,2018,9784560064207

講義コード	U821000110	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)10		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	青木 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-105.通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の基礎文法を学習していきます。練習問題を通して理解度を確認しながら、発音から接続法までを身につけます。

到達目標

辞書を使って、独力で、易しい原書が読めるようになることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語とは:ドイツ語圏、ドイツ語の歴史・文化の紹介
第2回	発音
第3回	第一課:動詞の現在人称変化(1)
第4回	第一課:練習問題
第5回	第二課:名詞の性と冠詞の格変化
第6回	第二課:練習問題
第7回	第三課:動詞の現在人称変化(2)と冠詞類
第8回	第三課:練習問題
第9回	第四課:人称変化と前置詞
第10回	第四課:練習問題
第11回	第五課:話法の助動詞
第12回	第五課:練習問題
第13回	第六課:形容詞の格変化と序数詞
第14回	第七課:接続詞と分離動詞
第15回	理解度の確認
第16回	第八課:動詞の三基本形と過去形
第17回	第八課:練習問題
第18回	第九課:現在完了形と再帰代名詞
第19回	第九課:練習問題
第20回	第十課:関係代名詞と命令法
第21回	第十課:練習問題
第22回	第十一課:zu不定詞と非人称のes
第23回	第十一課:練習問題
第24回	第十二課:受動態
第25回	第十二課:練習問題
第26回	第十三課:接続法第一式
第27回	第十三課:練習問題
第28回	第十四課:接続法第二式
第29回	第十四課:練習問題
第30回	理解度の確認

授業方

通年を対面授業の形態で進めます。文法解説は教師が行い、練習問題は履修者各自に担当してもらいます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習:授業前に予め教科書の該当箇所を読み、練習問題をノートに書いておくこと(1～2時間)

復習:不明だった点を確認すること(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業中の積極的な参加態度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テスト、および学期末試験は返却し、授業内で解説を行います。

教科書

コンタクト ドイツ語と出会う,杉谷恭一ほか,白水社,2020,978-4-560-06429-0

講義コード	U821000111	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)11		
副題	ドイツ語初級文法		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高田 博行		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 西2-404.通年 水曜日 4時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語圏文化学科1年次を対象としたクラスです。ABCの発音から始まって、動詞の変化、冠詞の変化、名詞の変化、形容詞の変化、前置詞の用法、現在完了形、未来形、受動態、関係代名詞等へとステップアップし、文の作り方を学びます。

到達目標

これからドイツ語を4年間学習していくにあたって、基礎となる初級レベルの文法的知識を習得し、初級レベルの文法的知識を習得し、基本的なドイツ語の文章であれば独力で読み・書き・話し・聞き取ることができるようになることがこの授業の目的です。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入(授業の進め方、一般的注意、辞書や参考書について)
第2回	ドイツ語のアルファベット、発音
第3回	動詞の現在人称変化 I
第4回	定冠詞と名詞
第5回	名詞の複数形
第6回	定冠詞類
第7回	不定冠詞(類)
第8回	動詞の現在人称変化 II
第9回	命令形
第10回	人称代名詞
第11回	前置詞
第12回	形容詞の格変化
第13回	動詞の三基本形
第14回	授業のまとめ
第15回	到達度の確認
第16回	動詞の過去人称変化
第17回	動詞の現在完了形
第18回	形容詞の比較変化
第19回	話法の助動詞と未来形
第20回	従属接続詞と副文
第21回	分離動詞と非分離動詞(1)
第22回	分離動詞と非分離動詞(2)
第23回	zu 不定詞句
第24回	再帰動詞
第25回	分詞
第26回	指示代名詞
第27回	関係代名詞
第28回	受動態
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度の確認

授業計画コメント

わからないことがあったら、後回しにせず、いつでも質問してください。

授業方

対面授業(実習)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回の授業内容について復習するとともに、次回の授業内容について教科書やプリントの該当箇所を予習すること(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

文法項目が理解できているか、基本的な語彙を習得しているかを確認します。授業中には、発音練習も行い、発音とイントネーションのチェックも行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの結果を踏まえて、次回の授業時に間違いやすい点などについて解説します。

教科書

新・文法システム15,西本義彦・高田博行・Angelika Nishimoto ,同学社,2014,978-4-8102-0881-8

その他

LMSはmanabaを使用します。

講義コード	U821000112	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)12		
副題	ドイツ語初級文法		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	田丸 理砂		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 西2-203.通年 水曜日 4時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語圏文化学科1年次を対象としたクラスです。ABCの発音から始まって、動詞の変化、冠詞の変化、名詞の変化、形容詞の変化、前置詞の用法、現在完了形、未来形、受動態、関係代名詞等へとステップアップし、文の作り方を学びます。

到達目標

これからドイツ語を4年間学習していくにあたって、基礎となる初級レベルの文法的知識を習得し、初級レベルの文法的知識を習得し、基本的なドイツ語の文章であれば独力で読み・書き・話し・聞き取ることができるようになることがこの授業の目的です。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入(授業の進め方、一般的注意、辞書や参考書について)
第2回	ドイツ語のアルファベット、発音
第3回	動詞の現在人称変化 I
第4回	定冠詞と名詞
第5回	名詞の複数形
第6回	定冠詞類
第7回	不定冠詞(類)
第8回	動詞の現在人称変化 II
第9回	命令形
第10回	人称代名詞
第11回	前置詞
第12回	形容詞の格変化
第13回	動詞の三基本形
第14回	授業のまとめ
第15回	到達度の確認
第16回	動詞の過去人称変化
第17回	動詞の現在完了形
第18回	形容詞の比較変化
第19回	話法の助動詞と未来形
第20回	従属接続詞と副文
第21回	分離動詞と非分離動詞(1)
第22回	分離動詞と非分離動詞(2)
第23回	zu 不定詞句
第24回	再帰動詞
第25回	分詞
第26回	指示代名詞
第27回	関係代名詞
第28回	受動態
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度の確認

授業計画コメント

わからないことがあったら、後回しにせず、いつでも質問してください。

授業方

対面授業(実習)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

前回の授業内容について復習するとともに、次回の授業内容について教科書やプリントの該当箇所を予習すること(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

文法項目が理解できているか、基本的な語彙を習得しているかを確認します。授業中には、発音練習も行い、発音とイントネーションのチェックも行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの結果を踏まえて、次回の授業の最初に間違いやすい点などについて解説します。

教科書

『新・文法システム15』,西本義彦・高田博行・Angelika Nishimoto,同学社,2014,978-4-8102-0881-8

講義コード	U821000113	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)13		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西2-406.通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

この授業ではドイツ語を初めて学ぶ人を対象に、1年間を通して基礎文法を勉強していきます。語学にはどうしても反復練習が必要になってきます。ですから、なるべく多くの練習問題を解いていく予定ですが、ドイツに関する情報や私自身のドイツでの体験談なども適宜交えながら、できるだけ無理なく楽しく授業していきたいと思っております。

到達目標

- ・ 名詞の性や格、動詞の人称変化、構文の仕組みなど、ドイツ語文法における基礎的な知識を身につけること
- ・ ドイツ語辞書を適切に活用できるようになること

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語のアルファベットと発音
第2回	動詞の現在人称変化
第3回	seinとhaben
第4回	定動詞の位置
第5回	名詞と定冠詞
第6回	名詞の複数形
第7回	不定冠詞と所有冠詞
第8回	否定冠詞とnicht
第9回	数詞
第10回	ドイツ語の不規則動詞
第11回	命令形
第12回	分離動詞
第13回	前期の復習
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	1学期の復習
第17回	前置詞(1): 特定の格と結びつく前置詞
第18回	前置詞(2): 3・4格支配の前置詞
第19回	動詞の3基本形
第20回	完了形
第21回	形容詞(1): 形容詞の格変化と冠詞の関係
第22回	形容詞(2): 序数
第23回	比較表現
第24回	接続詞
第25回	再帰動詞
第26回	zu不定詞
第27回	関係代名詞
第28回	2学期の復習
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方

グループワークを適宜取り入れますので、疑問があっても1人で抱え込まずに共有し、お互いに知識をシェアして助け合いながら課題に取り組んでください。もちろん教員は最大限サポートしますので、気軽に声をかけてください。いい質問の場合は平常点として加算もします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: やる予定のレッスンの説明を読み、自分なりに説明できるよう準備してくる。 (30分)

復習: 授業内容を振り返り、不明なところがないか確認すること。あれば、それをきちんとした質問の形で次回以降にアウトプットできるようにしておくこと。 (30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分 (%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	授業期間内にて実施する筆記試験
学年末試験(第2学期)	45 %	授業期間内にて実施する筆記試験
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	質問や意見など、積極的な受講態度に対する評価
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

期末試験では、学期内で扱った学習事項を範囲とした筆記試験を行います。

平常点では出席状況のほか、授業中に指示された課題に対する取り組みや成果も評価対象とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

適宜コメントや指導を行います。

試験は採点后、返却と解説を行います。

教科書

改訂版・ドイツ文法ガイドA-Z, 保阪良子, 同学社, 改訂, 2010, 9784810208689

参考文献コメント

ドイツ語辞書は必ず購入・持参すること。

その他

WebClass上の掲示板やメッセージ機能を通じて連絡をしてください。

講義コード	U821000114	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)14		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西2-306.通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の文法を丁寧に学習し練習問題をこなすことで文法の基礎をしっかりと身につけます。第2学期はドイツ語の構造や特性を十分に理解することを目指します。

到達目標

ドイツ語の文法・文構造の基礎をひと通り学び理解することにより、辞書を用いれば比較的平易なドイツ語の文章を読解・作文できるようになる。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|----------------------------|
| 第1回 | ガイダンス、アルファベット、発音 |
| 第2回 | Lektion 1 動詞の現在人称変化(I) |
| 第3回 | Lektion 1 動詞の現在人称変化(I) |
| 第4回 | Lektion 2 動詞の現在人称変化(II) |
| 第5回 | Lektion 2 並列の接続詞 |
| 第6回 | Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 |
| 第7回 | Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化 |
| 第8回 | Lektion 4 名詞の複数形 |
| 第9回 | Lektion 4 人称代名詞 |
| 第10回 | Lektion 5 不定冠詞類 |
| 第11回 | Lektion 5 定冠詞類 |
| 第12回 | Lektion 6 動詞の現在人称変化(III) |
| 第13回 | Lektion 6 命令形 |
| 第14回 | 理解度の確認 |
| 第15回 | 第1学期振り返り |
| 第16回 | Lektion 7 話法の助動詞 |
| 第17回 | Lektion 7 未来形 |
| 第18回 | Lektion 8 前置詞 |
| 第19回 | Lektion 8 再帰代名詞・再帰動詞 |
| 第20回 | Lektion 9 分離動詞・非分離動詞 |
| 第21回 | Lektion 9 zu不定詞句・従属の接続詞 |
| 第22回 | Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形 |
| 第23回 | Lektion 10 現在完了形 |
| 第24回 | Lektion 11 3基本形(II) |
| 第25回 | Lektion 11 受動態 |
| 第26回 | Lektion 12 形容詞の変化 |
| 第27回 | Lektion 12 比較 |
| 第28回 | Lektion 12 関係代名詞 |
| 第29回 | 理解度の確認 |
| 第30回 | 第2学期振り返り |

授業方

文法を簡潔に説明したのち各自練習問題に取り組んでもらいます。受講者の理解度を確認しながら進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業内容についての理解度をみずから確認する(30分)。
指示された箇所を暗記する(30分)。

練習問題などの宿題に取り組む(30分)。
例文などを読み発音に慣れる(20分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(出席、クラス参加など):15% 定期試験以外に・小テスト・提出課題・授業に臨む姿勢(予習、練習問題への取り組み姿勢など)なども評価の対象とします。なお全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題・小テストは次回までにチェックをして返却します。学期末試験は返却し解説を行います。

教科書

ゲナウ! グラマティック ノイ,新倉真矢子他,第三書房,5,2022,9784808610494

参考文献コメント

(初回の授業で指示する)独和辞典は必ず持参してください。

講義コード	U821000115	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)15		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小林 和貴子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-201.通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の発音、文法、文章構造の基礎を学びます。同時に、ドイツの社会や日常生活について情報を得ることによって、ドイツ語への理解を深めます。

到達目標

- ・ドイツ語文法の基礎をマスターする。
- ・基本的なドイツ語を読み、書き、聞き、話すことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	文字と発音①
第2回	文字と発音②
第3回	第1課 動詞の現在人称変化と語順①
第4回	〃 ②
第5回	第2課 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞①
第6回	〃 ②
第7回	1学期中間テスト
第8回	第3課 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格①
第9回	〃 ②
第10回	第4課 前置詞、副文①
第11回	〃 ②
第12回	第5課 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格①
第13回	〃 ②
第14回	1学期末テスト
第15回	到達度確認
第16回	第6課 冠詞類①
第17回	〃 ②
第18回	第7課 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞①
第19回	〃 ②
第20回	第8課 過去形・現在完了形、受動態①
第21回	〃 ②
第22回	2学期中間テスト
第23回	第9課 形容詞の格変化、比較級と最上級①
第24回	〃 ②
第25回	第10課 関係代名詞、命令形①
第26回	〃 ②
第27回	第11課 接続法①
第28回	〃 ②
第29回	2学期末テスト
第30回	到達度確認

授業方

感染対策を行いつつ、対面で授業を行います(演習形式)。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・その週の自習内容が終わらなかつたらその分は宿題とします(15分程度)。
- ・その週に習った単語やフレーズ、文法規則は、次回前に覚えてください(15～30分程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	2回行います。
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

・1年間で、4回のテストをします。それぞれ20%で評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの返却時にコメントします。

教科書

ドイツ語の時間—(話すための文法):ドイツ語の時間,清野智昭,朝日出版社,初,2016,978-4-255-25389-3

講義コード	U821000116	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)16		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-104.通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。ドイツ語は英語と比べれば、文法上の例外が少ない言葉です。基礎をしっかりと身につけると、自分でドイツ語が自由に読めるようになります。「ドイツ語文法」と言うと堅く聞こえますが、「ドイツ語を読むコツ」と考えて、楽しく身につけましょう。教科書は「PANORAMA Deutsch」です。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されています。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、短いセンテンスを覚えながら、ドイツ語の基礎力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	第1回目の授業は、履修者の決定。ドイツ語の発音を勉強します。
第2回	第1課 動詞の現在人称変化
第3回	第2課 名詞の性/冠詞の格変化
第4回	第3課 不規則変化動詞/命令形
第5回	第3課 明日の予定を尋ねる
第6回	第4課 定冠詞類・不定冠詞類
第7回	第4課 買い物に行く(1)
第8回	第5課 複数形/人称代名詞
第9回	第5課 買い物に行く(2)
第10回	第6課 前置詞の格支配
第11回	第6課 週末の予定を尋ねる
第12回	第7課 形容詞の格変化
第13回	第7課 趣味について尋ねる
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	第8課 話法の助動詞/未来形
第17回	第9課 分離動詞/接続詞と副文
第18回	第9課 駅の窓口で尋ねる
第19回	第10課 zu不定詞/再帰代名詞
第20回	第10課 休暇の計画を尋ねる
第21回	第11課 動詞の3基本形/過去形
第22回	第11課 旅の体験を語る(1)
第23回	第12課 現在完了形/非人称表現
第24回	第12課 旅の体験を語る(2)
第25回	第13課 受動態/比較表現
第26回	第13課 意見を交換する(1)
第27回	第14課 関係代名詞・関係副詞
第28回	第14課 意見を交換する(2)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方

授業は、まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。

毎回宿題をだしますので、家で考えて、たくさんの「？」を持って授業に来てください。「？」が解決したとき、よく頭に入ります。ほぼ毎回、小テストをします。また各課の終わりにまとめテストをします。成績はまとめテストと普段の小テストでつけます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分程度、その週に習った文章を繰り返し暗記してください。基礎文章を長期記憶に定着させ、小テストに臨んでください。その他に、和訳、練習問題などの宿題を出しますので、準備をしてきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		対面形式が行えない場合は期末試験45%
学年末試験(第2学期)		対面形式が行えない場合は学年末試験45%
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10%(授業時の積極性とペア練習の参加態度)、毎回の小テストと各課のまとめテストを合計して90%です。全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後にフィードバックします。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[ver.3.0],上野成利、本田雅也,白水社,三訂,2018,9784560064207

講義コード	U821000117	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)17		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 中央-504.通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の基礎となる文法を学習する。

到達目標

全ての言語活動の基本となる文法を身につけ、平易な文章を読んだり、簡単な作文が出来るようになる。また、正しく発音することが出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	つづりと発音
第3回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」(1)
第4回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」(2)、「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(1)
第5回	「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(2)
第6回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(1)
第7回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(2)
第8回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(1)
第9回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(2)
第10回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(1)
第11回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(2)
第12回	「第6課 形容詞の格変化」(1)
第13回	「第6課 形容詞の格変化」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(1)
第17回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(2)
第18回	「第8課 完了形・比較変化」(1)
第19回	「第8課 完了形・比較変化」(2)
第20回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(1)
第21回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(2)
第22回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(1)
第23回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(2)、「第11課 再帰動詞・分詞」(1)
第24回	「第11課 再帰動詞・分詞」(2)
第25回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(1)
第26回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(2)
第27回	「第13課 受動態」(1)
第28回	「第13課 受動態」(2)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

14・15課の接続法は2年次で学習することになっているので、1年次では扱わない。

授業方

文法事項の説明の後、練習問題を解いて基礎固めをする。随時質問を受け付けるので、理解できない点がある場合は、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所を予習し、また、宿題を必ずやること。(1~2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験の他、小テストや平常点も加味して評価するので、普段の学習を怠らないことが重要である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

新・文法システム15,西本美彦/西本アンゲリカ/高田博行,同学社,新,2015,9784810208818

参考文献

- クラウン 独和辞典,三省堂
- フロイデ 独和辞典,白水社
- 新アポロン 独和辞典,同学社
- アクセス 独和辞典,三修社
- プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

その他

1年間という限られた時間内で文法事項を一通り終えなければならないので、そのための受講者の協力(宿題は必ずやってくる)は欠かせないが、理解できない点があれば遠慮せず、積極的に質問して欲しい。

講義コード	U821000118	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)18		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1-304.通年 水曜日 1時限 対面授業		

授業概要

文法は、ドイツ語を理解し、運用するための基本となるものです。ドイツ語の文法は難しいと思われがちですが、基本をよく整理すれば、決して難しいものではなく、論理的で、学習しやすいものです。各項目をひとつひとつ理解し、反復して勉強することで、今後の学習に必要な文法知識をしっかりと身につけてほしいと思います。

到達目標

一年間で接続法を除く一通りの文法を学びます。ドリルや小テストで知識を定着させ、様々な文章を読んだり話したりするための基礎を作ります。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット
第2回	動詞の現在人称変化1
第3回	動詞の現在人称変化2
第4回	名詞の性・数・格1
第5回	名詞の性・数・格2
第6回	定冠詞類、不定冠詞類1
第7回	定冠詞類、不定冠詞類2
第8回	人称代名詞
第9回	不規則動詞の現在人称変化
第10回	不規則動詞の現在人称変化2
第11回	命令形
第12回	前置詞1
第13回	前置詞2
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	前期の復習
第17回	助動詞1
第18回	助動詞2
第19回	分離動詞1
第20回	分離動詞2
第21回	動詞の3基本形、過去形
第22回	現在完了形1
第23回	現在完了形2
第24回	受動態1
第25回	受動態2
第26回	形容詞
第27回	関係代名詞1
第28回	関係代名詞2
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方

文法を説明した後、受講者に練習問題を解いてもらいます。毎回授業の始めに前回の復習、宿題の答え合わせを行います。また、基本的な文法事項については、その都度小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

準備学習(予習・復習)

予習は必要ありませんが、ドリルや課題の提出など復習が重要です。(約1時間)。語学の習得には繰り返しが大事なので、特にドリルは自分の知識の確認のためにも何度も解いてみてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業態度、課題の提出状況を重視しますので、受講生は必ず課題を行い、授業に積極的に参加してください。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストは次回の授業、第1学期の学期末試験は第2学期のはじめに返却します。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法(改定版),荻原耕平,白水社,9784560064245

その他

ドリルや課題の提出にはmanabaを使います。質問等はmanabaのコメント欄またはMoodleからお願いします。

講義コード	U821000119	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)19		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1-208.通年 水曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。ドイツ語文法の基礎を一通り学びます。

到達目標

ドイツ語の基礎文法を学び、活用できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定。授業の進行についてのガイダンス。ドイツ語の文字や発音についての説明。
第2回	規則変化動詞
第3回	動詞の位置・seinとhaben
第4回	名詞の性・数・格
第5回	冠詞の変化
第6回	不規則変化動詞
第7回	命令形・冠詞類
第8回	定冠詞類・不定冠詞類
第9回	指示代名詞・疑問代名詞
第10回	人称代名詞・前置詞
第11回	前置詞の格支配
第12回	話法の助動詞・未来形
第13回	既習事項の確認
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	前期学習事項の復習
第17回	副文
第18回	分離動詞
第19回	再帰動詞
第20回	非人称es・形容詞
第21回	形容詞の名詞化
第22回	過去形
第23回	完了形
第24回	関係代名詞
第25回	比較
第26回	zu不定詞
第27回	受動文
第28回	既習事項の確認
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

第1学期は7課まで、第2学期は14課までを学ぶ予定です。履修者の理解度によって進度は変更します。

授業方

授業では新出文法事項の説明を行います。教科書にはその文法事項を用いた練習問題があり授業中に答え合わせ・解説を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

準備学習(予習・復習)

毎回、授業内で指定された練習問題を解いてきてもらいます。これが復習になります。予習に関しては適宜範囲を指定します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	全5回ほど
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学んだ内容が小テスト・試験で出題されます。
授業内で指名されて宿題をやっていなかった場合などに平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

わかるぞドイツ語！みえるぞドイツ！WEB改訂版,春日正男、松澤淳,朝日出版社,2022,978-4-255-25451-7 C1084

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,4,2010,978-4-384-06000-3

クラウン独和辞典,濱川祥枝、信岡資生、新田春夫,三省堂,5,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。特に指定はしませんが必ず辞書は買って下さい。店頭で実物を見比べて見やすいと感じたものを使いましょう。

講義コード	U821000120	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)20		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 中央-504.通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の基礎となる文法を学習する。

到達目標

全ての言語活動の基本となる文法を身につけ、平易な文章を読んだり、簡単な作文が出来るようになる。また、正しく発音することが出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	つづりと発音
第3回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」(1)
第4回	「第1課 動詞の現在人称変化 1」(2)、「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(1)
第5回	「第2課 定冠詞と名詞・複数形」(2)
第6回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(1)
第7回	「第3課 不定冠詞と冠詞類・並列接続詞」(2)
第8回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(1)
第9回	「第4課 現在人称変化 2・命令形」(2)
第10回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(1)
第11回	「第5課 人称代名詞・前置詞」(2)
第12回	「第6課 形容詞の格変化」(1)
第13回	「第6課 形容詞の格変化」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(1)
第17回	「第7課 動詞の3基本形・過去人称変化」(2)
第18回	「第8課 完了形・比較変化」(1)
第19回	「第8課 完了形・比較変化」(2)
第20回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(1)
第21回	「第9課 話法の助動詞・未来形・縦続接続詞」(2)
第22回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(1)
第23回	「第10課 分離動詞・zu 不定詞句」(2)、「第11課 再帰動詞・分詞」(1)
第24回	「第11課 再帰動詞・分詞」(2)
第25回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(1)
第26回	「第12課 指示代名詞・関係代名詞」(2)
第27回	「第13課 受動態」(1)
第28回	「第13課 受動態」(2)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

14・15課の接続法は2年次で学習することになっているので、1年次では扱わない。

授業方

文法事項の説明の後、練習問題を解いて基礎固めをする。随時質問を受け付けるので、理解できない点がある場合は、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所を予習し、また、宿題を必ずやること。(1~2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験の他、小テストや平常点も加味して評価するので、普段の学習を怠らないことが重要である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

新・文法システム15,西本美彦/西本アンゲリカ/高田博行,同学社,新,2015,9784810208818

参考文献

クラウン 独和辞典,三省堂
フロイデ 独和辞典,白水社
新アポロン 独和辞典,同学社
アクセス 独和辞典,三修社
プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

その他

1年間という限られた時間内で文法事項を一通り終えなければならないので、そのための受講者の協力(宿題は必ずやってくる)は欠かせないが、理解できない点があれば遠慮せず、積極的に質問して欲しい。

講義コード	U821000121	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)21		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-204.通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

練習問題をたくさん解きながら、ドイツ語文法の基礎をしっかりと学びます。

到達目標

「ドイツ語技能検定試験」3級に合格できるレベルを目指します。また、簡単な文章であれば、自分で書いたり、自力で読んだりできるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、発音
第2回	動詞の現在人称変化
第3回	不規則変化動詞
第4回	名詞, 冠詞①
第5回	名詞, 冠詞②
第6回	人称代名詞
第7回	指示代名詞
第8回	分離動詞・非分離動詞①
第9回	分離動詞・非分離動詞②
第10回	命令形
第11回	話法の助動詞①
第12回	話法の助動詞②
第13回	前置詞
第14回	第1学期のまとめ
第15回	振り返り
第16回	第1学期の復習
第17回	再帰動詞①
第18回	再帰動詞②
第19回	zu不定詞
第20回	現在完了形①
第21回	現在完了形②
第22回	過去形
第23回	受動態①
第24回	受動態②
第25回	接続詞
第26回	形容詞
第27回	関係代名詞①
第28回	関係代名詞②
第29回	第2学期のまとめ
第30回	振り返り

授業計画コメント

ときどき確認テストを行います。

授業方

演習形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

準備学習(予習・復習)

毎回、授業で学習した文法項目を確認するための宿題を出します。必ず取り組み、理解できていないところがあれば、次の授業で質問できるように準備をしてください。(1～2時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各学期の最後に行う学期末試験、小テスト、授業参加度から総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

確認テストについては授業内に返却・解説を行います。

教科書

ドイツ語インパクト<ノイ>,三宅恭子, Michaela Koch,三修社,4,2019,978-4-384-12286-2

教科書コメント

分かりやすい解説とたくさんの練習問題で、ドイツ語の基本文法を体系的かつ能動的に学ぶことのできる教科書です。

参考文献

クラウン独和辞典,三省堂,第5,2013,978-4-385-12011-9

アクセス独和辞典,三修社,第4,2021,978-4-384-06000-3

参考文献コメント

初級～中級学習者向けの辞書です。

講義コード	U821001101	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)1		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1-104.通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

初級文法を終えた学生を対象とし、ドイツ語読解力の向上を目的とします。文法練習なども、バランスよく加えながら、ドイツ語中級の読解力を養います。教科書には「新・ドイツ語読みかた教室」を用います、たくさん発音練習もしながらドイツ語の読解力をつけていきましょう。

到達目標

ドイツ語の初級文法全般にわたる知識を前提に、辞書を使って正確にドイツ語の様々な文章を読むことができる。辞書を使わないでも大意が取れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	LEKTION 1 トイレでノックはするな Klopfen—wozu? ～がある/いる:es gibt+4格とes ist～との違い
第2回	LEKTION 1 トイレでノックはするな Klopfen—wozu? ～がある/いる:es gibt+4格とes ist～との違い
第3回	LEKTION 2 ドイツ人と音—音楽かならずしも楽音ならず Deutsche und Geräusche 接続法の表現・前つづりの意味
第4回	LEKTION 2 ドイツ人と音—音楽かならずしも楽音ならず Deutsche und Geräusche 接続法の表現・前つづりの意味
第5回	LEKTION 3 ドイツ人はケチ? Sind Deutsche geizig? 造語法・序数と分数・形容詞の名詞化
第6回	LEKTION 3 ドイツ人はケチ? Sind Deutsche geizig? 造語法・序数と分数・形容詞の名詞化
第7回	LEKTION 3 ドイツ人はケチ? Sind Deutsche geizig?
第8回	LEKTION 4 ドイツ人のジョーク Deutscher Witz wissenとkennen・過去分詞の形容詞的用法・冠詞句
第9回	LEKTION 4 ドイツ人のジョーク Deutscher Witz wissenとkennen・過去分詞の形容詞的用法・冠詞句
第10回	LEKTION 5 割り勘 Jeder bezahlt für sich 接頭辞と接尾辞・比較・従属接続詞
第11回	LEKTION 5 割り勘 Jeder bezahlt für sich 接頭辞と接尾辞・比較・従属接続詞
第12回	LEKTION 6 ドイツ人とサンドイッチ Essen die Deutschen Sandwiches? 動詞の不定形・名詞文体・未来受動分詞の用法
第13回	LEKTION 6 ドイツ人とサンドイッチ Essen die Deutschen Sandwiches? 動詞の不定形・名詞文体・未来受動分詞の用法
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	LEKTION 7 ドイツ人の時間感覚 Zeitgefühl der Deutschen wasの用法・訳しにくい動詞と名詞
第17回	LEKTION 7 ドイツ人の時間感覚 Zeitgefühl der Deutschen wasの用法・訳しにくい動詞と名詞
第18回	LEKTION 8 保守と革新 Konservativ oder Progressiv 文の構造・接続法と直説法・形容詞の名詞化
第19回	LEKTION 8 保守と革新 Konservativ oder Progressiv 文の構造・接続法と直説法・形容詞の名詞化
第20回	LEKTION 9 客はどこに座らせる? Wo sitzt der Gast? 機能動詞
第21回	LEKTION 9 客はどこに座らせる? Wo sitzt der Gast? 機能動詞
第22回	LEKTION 9 客はどこに座らせる? Wo sitzt der Gast?
第23回	LEKTION 10 遅れてきたとき、どのように着席するのか? Wie kommt man zu seinem Platz, wenn man zu spät kommt? 動詞(現在分詞)の名詞化・指示代名詞

- 第24回 LEKTION 10 遅れてきたとき、どのように着席するのか？
Wie kommt man zu seinem Platz, wenn man zu spät kommt?
動詞(現在分詞)の名詞化・指示代名詞
- 第25回 LEKTION 11 使いやすい表現と使いにくい表現
Leicht benutzbare Ausdrücke und schwer benutzbare Ausdrücke
定関係代名詞・話法の助動詞・従属接続詞obwohl
- 第26回 LEKTION 11 使いやすい表現と使いにくい表現
Leicht benutzbare Ausdrücke und schwer benutzbare Ausdrücke
定関係代名詞・話法の助動詞・従属接続詞obwohl
- 第27回 LEKTION 12 働いてばかりはいられない
Man kann nicht immer arbeiten
過去分詞の副詞的用法
- 第28回 LEKTION 12 働いてばかりはいられない
Man kann nicht immer arbeiten
過去分詞の副詞的用法
- 第29回 理解度の確認
- 第30回 まとめ

授業方

毎回予習をもとに輪読し、疑問点を隣の人と相談する。その上で教員が解説を加える。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分、その週にならった文章を音読してください。和訳、宿題を毎回出しますので、準備してきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

ほぼ毎回小テストを行います。また各課終了後にまとめテストを行います。

授業の3分の1以上欠席した場合は、評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験返却後に質問を受け付けます。

教科書

新・ドイツ語読みかた教室,大谷弘道,三修社,2010,978-4-384-13088-1 C1084

講義コード	U821001102	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)2		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 西1-102.通年 水曜日 4時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の初級文法を一通り学習した学生が対象です。
ある程度まとまった量の文章を読みながら、基礎文法の確認・定着を図りつつ、中～上級文法や新たな語彙・表現を身につけていきます。

到達目標

自分が興味をもったことについて、WebニュースやWebサイトなどから記事を探せるようになる。また、探し出した記事について、辞書を用い、内容を大まかに把握できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	初級文法の確認
第2回	特に重要な中級文法の確認
第3回	テキスト①読解・意見交換[1]
第4回	テキスト①読解・意見交換[2]
第5回	テキスト②読解・意見交換[1]
第6回	テキスト②読解・意見交換[2]
第7回	第1学期前半の文法・重要表現のまとめ
第8回	テキスト③読解・意見交換[1]
第9回	テキスト③読解・意見交換[2]
第10回	テキスト④読解・意見交換[1]
第11回	テキスト④読解・意見交換[2]
第12回	テキスト⑤読解・意見交換[1]
第13回	テキスト⑤読解・意見交換[2]
第14回	第1学期後半の文法・重要表現のまとめ
第15回	振り返り
第16回	テキスト⑥読解・意見交換[1]
第17回	テキスト⑥読解・意見交換[2]
第18回	テキスト⑦読解・意見交換[1]
第19回	テキスト⑦読解・意見交換[2]
第20回	テキスト⑧読解・意見交換[1]
第21回	テキスト⑧読解・意見交換[2]
第22回	第2学期前半の文法・重要表現のまとめ
第23回	テキスト⑨読解・意見交換[1]
第24回	テキスト⑨読解・意見交換[2]
第25回	テキスト⑩読解・意見交換[1]
第26回	テキスト⑩読解・意見交換[2]
第27回	テキスト⑪読解・意見交換[1]
第28回	テキスト⑪読解・意見交換[2]
第29回	第2学期前半の文法・重要表現のまとめ
第30回	振り返り

授業計画コメント

履修者の興味に応じてテキストを選択します。

授業方

演習形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次に読むテキストで必要となる単語や文法をまとめたプリントを配ります。語句については必ず調べてきてください。(30分～1時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)	20 %	

成績評価コメント

各学期の最後に行う試験に加え、小テスト、提出課題、授業への参加態度などから総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストや課題は授業時に返却します。連絡や課題のやり取りにはWebClassを用いることもあります。

教科書コメント

毎回プリントを用意します。

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,4,2021,978-4-384-06000-3

クラウン独和辞典,濱川祥枝,三省堂,5,2013,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

必ず独和辞典を持参してください。

講義コード	U821001103	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)3		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西2-406.通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語圏における様々なテーマ(歴史、社会、生活など)について、ドイツ語テキストを読みながら学んでいくことを目的とした授業です。初級文法を終えた学生を対象として、できるだけ多くのドイツ語を読み、文法事項の確認や語彙の増強を図ります。

到達目標

辞書を引きながらであればある程度のドイツ語読解ができるようになること、またそれによって日本語・英語に加えてドイツ語圏における情報へも目を向け、物事を相対的に判断できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	Lektion0 自己紹介
第2回	Lektion1 地理と気候(1)文法
第3回	Lektion1 地理と気候(2)テキスト読解
第4回	Lektion2 食生活(1)文法
第5回	Lektion2 食生活(2)テキスト読解
第6回	Lektion3 ドイツ語という言葉(1)文法
第7回	Lektion3 ドイツ語という言葉(2)テキスト読解
第8回	Lektion4 ドイツの大学(1)文法
第9回	Lektion4 ドイツの大学(2)テキスト読解
第10回	Lektion5 祝日と休暇(1)文法
第11回	Lektion5 祝日と休暇(2)テキスト読解
第12回	Lektion6 ドイツの政治制度(1)文法
第13回	Lektion6 ドイツの政治制度(2)テキスト読解
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	1学期の復習
第17回	Lektion7 教育制度(1)文法
第18回	Lektion7 教育制度(2)テキスト読解
第19回	Lektion8 政治制度(1)文法
第20回	Lektion8 政治制度(2)テキスト読解
第21回	Lektion9 ドイツの歴史概観(1)文法
第22回	Lektion9 ドイツの歴史概観(2)テキスト読解
第23回	Lektion10 音楽の国ドイツ(1)文法
第24回	Lektion10 音楽の国ドイツ(2)テキスト読解
第25回	Lektion11 ドイツの宗教事情(1)文法
第26回	Lektion11 ドイツの宗教事情(2)テキスト読解
第27回	Lektion12 二つのドイツ(1)文法
第28回	Lektion12 二つのドイツ(2)テキスト読解
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

クラスの理解度に応じて上記授業計画は修正する可能性があります

授業方

- ・文法を扱う回では教員による解説のあと、適宜グループワークを取り入れ共同で課題に取り組んでいきます
- ・テキスト読解は予習を前提とし、輪読形式で進めます

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 文法: 初級文法教科書等の確認や振り返り/テキスト読解: 授業時に指定された箇所の単語調べ(30分程度)
復習: 授業内で扱ったテキストの訳や間違えていた課題の見直し(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	40 %	前期と後期それぞれに実施する文法課題
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	各回ごとに課される課題に対する評価
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点として、輪読の際に指定された箇所をきちんと理解できているかや、その箇所と関連する文法事項等に関する理解度を評価します。

また、授業内で学習した文法事項に関する小テストを1学期・2学期それぞれ1回ずつ実施予定です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。

試験は採点后、返却と解説を行います。

教科書

知りたいドイツ語 ～読みながらステップアップ～, 斎藤太郎 / Siegfried Kohlhammer, 朝日出版, 2018, 978-4-255-25403-6

参考文献コメント

辞書は必ず毎回持参すること。

また、必要に応じて初級時の教科書も参照してください。

その他

疑問があったら1人で抱え込まずに共有し、お互いに知識をシェアして助け合いながら課題に取り組んでください。教員は最大限サポートしますので、気軽に声をかけてください。いい質問の場合は平常点として加算もします。

連絡は授業時間前後、もしくはG-PortやWebClassを通じて行います。

講義コード	U821001104	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)4		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1-305.通年 金曜日 3時限 対面授業		

授業概要

本講座は、ドイツ語初級講座で培った能力を確かなものにし、辞書を引きながらドイツ語を理解できるようになることを目指す。発音と基本文法+αを確実に身につけることは必須である。可能なら第2学期には文学作品も扱いたい。

到達目標

ドイツ語がわかり、面白くなる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語の基本中の基本の復習。
第2回	未習の文法、接続法(1)要求話法と間接話法。
第3回	接続法(2)非現実話法と婉曲話法。
第4回	接続法の復習とテキスト第0課。
第5回	第1課の本文と練習問題。
第6回	第2課の本文と練習問題。
第7回	第3課の本文と練習問題。
第8回	第4課の本文と練習問題。
第9回	第5課の本文と練習問題。
第10回	第6課の本文と練習問題。
第11回	第7課の本文と練習問題。
第12回	第8課の本文と練習問題。
第13回	第9課の本文と練習問題。
第14回	まとめ。
第15回	総括。
第16回	第1学期の期末テスト返却。
第17回	第10課の本文と練習問題。
第18回	第11課の本文と練習問題。
第19回	第12課の本文と練習問題。
第20回	第13課の本文と練習問題。
第21回	第14課の本文と練習問題。
第22回	文学作品を読む(1) Antoine de Saint-Exupéry: Der kleine Prinz-1
第23回	文学作品を読む(2) Antoine de Saint-Exupéry: Der kleine Prinz-2
第24回	文学作品を読む(3) Antoine de Saint-Exupéry: Der kleine Prinz-3
第25回	文学作品を読む(4) Franz Kafka: Vor dem Gesetz
第26回	文学作品を読む(5) Franz Kafka: Ein Bericht für eine Akademie-1
第27回	文学作品を読む(6) Franz Kafka: Ein Bericht für eine Akademie-2
第28回	文学作品を読む(7) Franz Kafka: Ein Bericht für eine Akademie-3
第29回	まとめ。
第30回	総括。

授業方

毎回、出席者に和訳などをしてもらおう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

和訳や文法の予習を課す。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:20%(ふだんが大切)。第1学期(学期末試験):20%(地道にやっているか)。第2学期(学年末試験):60%(語学は成績評価時にどれだけできるようになったかが最重要である)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に全体に向けてフィードバックを行なう。

教科書

知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～, Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎, 朝日出版社, 初, 2018, 978-4-255-25403-6 C1084

教科書コメント

本書は、語学的には初級よりは難しいが中級にしては易しいドイツ語で書かれており、内容はドイツやヨーロッパの社会・文化への入門的なものを扱っている。

講義コード	U821001105	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)5		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 5時限 西1-109.通年 火曜日 5時限 対面授業		

授業概要

初級で学習したことをベースにして、ドイツ語の Text を読み、内容について理解する力を養成することを目的とする。

到達目標

ドイツ語の Text を読み解きながら内容について理解し、自分の言葉で説明できるようにする。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	ガイダンスと導入、Kapitel 1 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第2回	Kapitel 1 Lesetext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第3回	Kapitel 1 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第4回	Kapitel 1 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第5回	Kapitel 2 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第6回	Kapitel 2 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第7回	Kapitel 2 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第8回	Kapitel 2 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第9回	Kapitel 3 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第10回	Kapitel 3 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第11回	Kapitel 3 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第12回	Kapitel 3 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第13回	Kapitel 4 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第14回	Kapitel 4 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第15回	理解度の確認
第16回	1学期期末試験の返却と解説
第17回	Kapitel 4 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第18回	Kapitel 4 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第19回	Kapitel 5 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第20回	Kapitel 5 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第21回	Kapitel 5 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第22回	Kapitel 5 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第23回	Kapitel 6 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第24回	Kapitel 6 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第25回	Kapitel 6 Lesetext 2 読解、文法項目確認
第26回	Kapitel 6 Leseext 2 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第27回	Kapitel 7 Lesetext 1 読解、文法項目確認
第28回	Kapitel 7 Leseext 1 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第29回	Kapitel 7 Lesetext 2 読解、文法項目確認、練習問題
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

はじめのうちは教科書となる Text の読解、必要となる文法事項の説明と練習とするが、場合によっては、順番や内容を途中で変更したり、新たな Text へ変更したりすることもある。

授業方

講義・演習(場合によっては WebClass か Mail を用いて課題や補助教材の受け渡しを行う)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

準備学習(予習・復習)

あらかじめ Text を読み、分からない語句・文構造などは辞書・文法書等で調べておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は次の時間に答え合わせをする

テストは返却後授業で解説

教科書

ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化8章プラス・エクストラ,Ute Schmidt/Mechthild Duppel-Takayama/三ツ石祐子/和泉雅人, 三修社,2021

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

その他

辞書は必ず持参のこと。できればベーシックの授業時の教科書や文法書も持参するとよい。

講義コード	U821001106	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)6		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 中央-504.通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科2年次指定クラスで、メルヘン、小説、新聞・雑誌記事等、様々な文章の読解を通じて、1年次に学んだドイツ語の基礎をより確実にすると同時に、種々のドイツ語文章に対応する読解力を養成する。文法事項を踏まえ、文章を正確に読むことを目指す。

到達目標

様々なドイツ語の文章を、文法を踏まえ、前後関係を把握し、相当程度正確に読むことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス。一年次の復習(接続法1)
第2回	一年次の復習(接続法2)
第3回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(1)
第4回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(2)
第5回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(3)
第6回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(4)
第7回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(5)
第8回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(6)
第9回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(7)
第10回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(8)
第11回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(9)
第12回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(10)
第13回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(11)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(12)
第17回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(13)
第18回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(14)
第19回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(15)
第20回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(16)
第21回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(17)
第22回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(18)
第23回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(19)
第24回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(20)
第25回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(21)
第26回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(22)
第27回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(23)
第28回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(24)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

授業方

受講者各自にドイツ語を読んで訳してもらい、教員がそれぞれの誤りを訂正し、また、重要な文法事項や内容等に解説を加えながら授業を進める。担当者以外の受講者に意見を求めることもあるので、積極的に授業に参加することが求められる。

また、時間の許す限りにおいて、テキスト理解やドイツ語圏の生活・文化に対する理解を深めるための写真等も見る予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予定した範囲の文章を事前に和訳し、理解する(約2時間)。読み合わせた部分の重要事項を事後に再確認し、覚える(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験は授業で学習した内容に基づいて出題されるので、予習・復習・授業への参加度が重要になる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書コメント

プリント配布。

参考文献

独和辞典, 富山・他, 郁文堂, 2

独和大辞典, 国松／岩崎・他, 小学館, 2

中級ドイツ文法, 中山豊, 白水社

[改訂版] 詳解ドイツ語文法, 在間進, 大修館書店

講義コード	U821001107	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)7		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	高田 博行		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西2-504.通年 水曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象とした授業です。ドイツ語圏の日常生活を扱った内容を取り上げて、読解力のほか、リスニングと発話の練習も行います。

到達目標

ドイツ語技能検定試験2級合格程度のドイツ語力の習得を目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入
第2回	ドイツ語圏の食生活(その1)
第3回	ドイツ語圏の食生活(その2)
第4回	ドイツ語圏におけるアルコール消費
第5回	ドイツ語圏の年中行事(その1)
第6回	ドイツ語圏の年中行事(その2)
第7回	中間まとめと中間試験(1)
第8回	ドイツのTV番組(その1)
第9回	ドイツのTV番組(その2)
第10回	旧東ドイツの子供番組のキャラクターSandmännchen(その1)
第11回	旧東ドイツの子供番組のキャラクターSandmännchen(その2)
第12回	中間まとめと中間試験(2)
第13回	ドイツ語圏のボードゲーム
第14回	復習
第15回	第1学期の総括
第16回	空きビン・空き缶のデポジット制度(その1)
第17回	空きビン・空き缶のデポジット制度(その2)
第18回	絵本『マックスとモーリッツ』(1865年)のなかのブラック・ユーモア(その1)
第19回	絵本『マックスとモーリッツ』(1865年)のなかのブラック・ユーモア(その2)
第20回	中間まとめと中間試験(3)
第21回	アディダスの歴史(その1)
第22回	アディダスの歴史(その2)
第23回	ユーハイム物語(その1)
第24回	ユーハイム物語(その2)
第25回	中間まとめと中間試験(4)
第26回	ドイツ語圏のクリスマス(その1)
第27回	ドイツ語圏のクリスマス(その2)
第28回	中間まとめと中間試験(5)
第29回	復習
第30回	1年間の総括

授業方

対面授業(実習)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

少なくとも1時間の予習。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト	50 %	
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

各小テストや中間テストに関して、学生が間違いやすいポイントを解説したり、学生からの疑問に答えたりしながら、学習内容の定着をはかります。

教科書

読んで旅する現代ドイツ,樋口恵・Maurizio Camagna,三修社,2023,978-4-384-13106-2

その他

LMSはmanabaを使用します。

講義コード	U821001108	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)8		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1-108.通年 金曜日 3時限 対面授業		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。ドイツ語読解力の向上を目的とします。エッセイ、メルヒェン、文学などさまざまな種類の文章をテンポ良く読んでいきます。コピーを配布します。

到達目標

ドイツ語技能検定試験2級合格程度の読解力および文法知識の習得を目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	テキスト1
第2回	テキスト1
第3回	テキスト2
第4回	テキスト2
第5回	テキスト3
第6回	テキスト3
第7回	テキスト4
第8回	テキスト4
第9回	テキスト5
第10回	テキスト5
第11回	テキスト6
第12回	テキスト6
第13回	テキスト7
第14回	テキスト7
第15回	まとめ
第16回	テキスト8
第17回	テキスト8
第18回	テキスト9
第19回	テキスト9
第20回	テキスト10
第21回	テキスト10
第22回	テキスト11
第23回	テキスト11
第24回	テキスト12
第25回	テキスト12
第26回	テキスト13
第27回	テキスト13
第28回	テキスト14
第29回	テキスト14
第30回	まとめ

授業方

対面授業を行います。輪読形式で予習してきたものを発表し、わからなかった箇所はみんなで考えます。そのあと解説を加えます。ひとつの読み物が終わるたびにまとめのテストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習は少なくとも2時間。それ以外に音読は毎日15分。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10%。各テキストを読み終わるたびにまとめテストを行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験返却時に質問を受け付けます。

講義コード	U821001109	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)9		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西2-506.通年 木曜日 4時限 対面授業		

授業概要

この授業は、ドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。ドイツ語初級文法習得者を対象に、こま切れの例文ではない、ある程度まとまった内容と長さをもつテキストを、辞書を頼りに読み解く練習をしていきます。教科書は、ドイツ語圏の国々の今の話題から、10のトピックをとりあげて紹介したものです。ドイツ語を使う国々の社会や文化についても、あわせて学んでいきましょう。教科書を読み終えた後は、プリントを用いて、また違う種類のテキストを読んでいく予定です

到達目標

習得した文法の知識と辞書を利用して、ある程度まとまった内容をもつドイツ語のテキストを自力で読み解く力を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	初級の復習
第2回	Hamstern als Pflicht?
第3回	続き
第4回	Der letzte große Wunsch
第5回	続き
第6回	Ausstieg aus dem Atomausstieg?
第7回	続き
第8回	Für 9 Euro einen Monat durch ganz Deutschland!
第9回	続き
第10回	Nächster Halt: Nachhaltigkeit
第11回	続き
第12回	Auf der Flucht vor dem Krieg
第13回	続き
第14回	まとめ
第15回	到達度の確認
第16回	Die Neutralität der Schweiz und Österreichs und die NATO
第17回	続き
第18回	O Tannenbaum, o Tannenbaum
第19回	続き
第20回	Die Schweiz wächst und altert
第21回	続き
第22回	Erwachsen werden in DACH
第23回	続き
第24回	追加教材の講読1
第25回	追加教材の講読2
第26回	追加教材の講読3
第27回	追加教材の講読4
第28回	追加教材の講読5
第29回	まとめ
第30回	到達度の確認

授業方

受講者が課題に対し解答し、それに解説を加える形で進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、教科書の指定箇所の予習が必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書

DACH・トピックス10 2023年度版,Diana Beier-Taguchi / 田中雅敏,朝日出版社,1,2023,978-4-255-25464-7

講義コード	U821001110	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)10		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1-104.通年 木曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語で書かれたテキストを読解を行います。
並行して、初級ドイツ語の授業で習得した事項の復習、確認をします。

なお、この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。

到達目標

ドイツ語の文章を読解する際のポイントを、履修者が把握できるようになることが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	テキスト1読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第3回	テキスト1読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第4回	テキスト1読解(続き)、文章全体の構成の確認
第5回	テキスト2読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第6回	テキスト2読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第7回	テキスト2読解(続き)、文章全体の構成の確認
第8回	テキスト3読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第9回	テキスト3読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第10回	テキスト3読解(続き)、文章全体の構成の確認
第11回	テキスト4読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第12回	テキスト4読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第13回	テキスト4読解(続き)、文章全体の構成の確認
第14回	まとめ
第15回	総括
第16回	テキスト5読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第17回	テキスト5読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第18回	テキスト5読解(続き)、文章全体の構成の確認
第19回	テキスト6読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第20回	テキスト6読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第21回	テキスト6読解(続き)、文章全体の構成の確認
第22回	テキスト7読解、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第23回	テキスト7読解(続き)、関連する文法事項の確認、解説
第24回	テキスト7読解(続き)、文章全体の構成の確認
第25回	テキスト8読解、関連する文法事項の確認、解説
第26回	テキスト8読解(続き)、個々の単語の意味の確認、文中での連関の確認
第27回	テキスト8読解(続き)、文章全体の構成の確認
第28回	テキスト8読解(続き)、文章全体の構成の確認
第29回	まとめ
第30回	総括

授業方

演習ならびに講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前にテキストに目を通し、日本語に訳せるように単語の意味を調べておいてください

また、意味等不明な箇所があればあげておいてください。(1時間～2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	25 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点については、授業中の発表内容が特にポイントとなります。
また進度を勘案したうえで、中間テストを行い、理解度をチェックする予定です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験の答えは返却し、履修者各自に内容確認を促し、授業内で解説を行います。

教科書コメント

プリント使用の予定

その他

授業時間内に使用する可能性があるため、独和辞典を持参してください。
電子辞書でも良いです。

講義コード	U821001111	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)11		
副題	多様なテキストに触れながら読む力を身につけましょう		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-206.通年 木曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語初級文法をすでに学習した学生を対象としたクラスです。色々な種類のテキスト読解を通じて、文脈における語彙の用法と文法構造を意識できるようになります。文メロディーや文アクセントに注意を払って音読する習慣も身につけていただきます。

到達目標

ドイツ語技能検定試験2～3級合格程度の読解力と文法知識を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者確定。授業の進め方のガイダンス、評価や教師学生間の連絡方法に関する説明
第2回	テキスト種類およびさまざまな「読み」のスタイルの紹介
第3回	コロナの時代における遠隔授業: プレーンストーミング Homeschooling: インタビュー・テキスト (1)
第4回	Homeschooling: インタビュー・テキスト (2)
第5回	Homeschooling: インタビュー・テキスト (3)
第6回	Homeschooling: インタビュー・テキスト (4)
第7回	Homeschooling: インタビュー・テキスト (5)
第8回	ECO LIFEHACKS "Schenken & Tauschen"
第9回	Schenken, Leihen, Tauschen (1)
第10回	Schenken, Leihen, Tauschen (2)
第11回	Schenken, Leihen, Tauschen (3)
第12回	Selbst gemachtes Geschenkpapier
第13回	Selbst gemachtes Geschenkpapier
第14回	到達度の確認(学期末試験)
第15回	1学期のまとめ(解答用紙返却、コメント、説明)
第16回	グリム童話 導入
第17回	Froschkönig
第18回	Froschkönig
第19回	Froschkönig
第20回	Froschkönig
第21回	Froschkönig
第22回	Froschkönig
第23回	オットフリート・プロイスラー 導入
第24回	Die kleine Hexe
第25回	Die kleine Hexe
第26回	Die kleine Hexe
第27回	Die kleine Hexe
第28回	Die kleine Hexe
第29回	到達度の確認(学年末試験)
第30回	2学期のまとめ(解答用紙返却、コメント、説明)

授業計画コメント

第1学期は、現在形および現在完了形がメインのSachtextを読みます。
第2学期は過去形に慣れるために物語を読みます。グリム童話(KHM)から「かえるの王子」(子ども向けのリライト版)、その次はドイツの児童文学小説「小さい魔女」を扱います(これは全部読めないで、冒頭から読めるところまで)。その際、前置詞、冠詞、接続詞、接続法などの復習も取り入れます。
皆さんの理解度に応じて進めていくので、上記の「授業内容」に挙げたものすべてを読むとは限りません。一方、上で挙げていないものを扱う可能性もあります。

授業方

対面授業で行います。こちらが指示・配布したテキストを全員があらかじめ読んで準備していることを前提に進めます。テキストの音読をしていただいてから、意味内容を説明していただきます。その後、皆さんから質問を頂いたりこちらから質問をします。授業を受けるためには皆さんの準備が欠かせません。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回授業で扱うテキストを宿題として教室で配布します。必ず予習してください。欠席した場合は授業終了時後に全学LMS(Moodleの予定)からテキストのダウンロードおよび印刷を各自でおこない、次回授業に備えてください。テキスト無しで授業を受けることはできません。「前回欠席したのでテキストありません」「テキストを忘れました」「テキストを紛失しました」は通用しません。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

出席、十分な準備と授業中の積極的な発言と質問、学期末および学年末試験の結果を参考にして成績評価いたします。全部の授業回数(通年)の三分の一以上の欠席があった場合、単位取得はできません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末および学年末試験共に、授業最終日の前の回の授業で行う予定です。採点した解答用紙は授業最終日に皆さんにお返しします。その際に多かったミスなどの説明をします。皆さんからの質問や授業についての感想や提案なども歓迎いたします。

その他

全学LMS(Moodleの予定)を利用して、こちらから皆さん全員あるいは個別の連絡をいたします。皆さんから私への連絡も同様にお願いたします。詳細は授業開始時に説明します。

講義コード	U821001112	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)12		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	鎌倉 澄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 中央-505.通年 月曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の初級文法を一通り学習した学生を対象とします。
ドイツ語読解の基本を押さえ、既習・未習の事項を確認、説明しつつ、テキストを読んでいます。
扱うテキストは、ドイツ語の子供向け百科事典サイトや、ドイツ語学習者向けのニュースサイト、さらにドイツ国内の名所や博物館等のWebサイト等から、参加者の興味関心に応じながら選びます。
平易で短いテキストから始め、徐々に長いテキストを読めるようにしていきます。適宜音読や聞き取りも取り入れ、音声からの読解も練習していきます。

到達目標

各自が興味ある分野のドイツ語による情報を独自に入手し、平易なテキストであれば自力で大まかな内容を理解でき、難しいものでも辞書等の助けがあれば理解できるレベルに達することが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語読解の基礎、Tiere (生き物)1 Käfer (甲虫) 動詞の現在人称変化
第2回	Tiere1-2 Käfer 名詞の性数格、比較表現
第3回	Tiere1-3 Käfer 形容詞の付加語的用法、現在完了
第4回	Tiere2-1 Bär (熊) 前置詞、助動詞、同等比較
第5回	Tiere2-2 Bär sein/habenの過去形、3・4格支配の前置詞
第6回	Tiere3-1 Hai (鮫) 関係代名詞
第7回	Tiereまとめと復習
第8回	Fußball1 受動態
第9回	Fußball2 接続詞
第10回	Fußball3 接続詞
第11回	Fußball4
第12回	ドイツ第2帝国とサッカー①
第13回	ドイツ第2帝国とサッカー②
第14回	第1学期まとめ 理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	Personen (人物)1 Beethoven / Hitler 過去形、使役lassen
第17回	Personen2-1 Chaplin 受動、色々な従属接続詞
第18回	Personen2-2 Chaplin 分詞
第19回	Personen2-3 Chaplin 呼応表現
第20回	Der große Diktator —HitlerとChaplin—①
第21回	Der große Diktator —HitlerとChaplin—②
第22回	Japan und Deutschland 1-1 Erfindungen (ドイツの発明品)
第23回	Japan und Deutschland 1-2 Erfindungen 前置詞付きの関係代名詞
第24回	Feste und Bräuche (祝祭)1 Advent (待降節)
第25回	Feste und Bräuche 2 Nikolaus (聖ニコラウス)
第26回	Feste und Bräuche 3 Weihnachtsmärkte (クリスマスマーケット)
第27回	Feste und Bräuche 4 Thomanerchor an der Thomaskirche Leipzig 1 (聖トーマス教会合唱隊)
第28回	Feste und Bräuche 4 Thomanerchor an der Thomaskirche Leipzig 2 (聖トーマス教会合唱隊)
第29回	第2学期まとめ 理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

第1学期は文法確認をしながらゆっくり着実に力をつけていきます。
授業内容の欄には用意したテキストの内容を一応記載しましたが、特に2学期は参加者の興味に応じて臨機応変にテキストを選んでいくつもりです。応用練習のつもりで、様々なテキストに挑戦していきましょう。

授業方

ペアワーク、グループワークも取り入れながら、全員でテキストを読み進めていきます。
授業内で指示された課題(予習、復習、練習問題等)は、必ず行ってください。
予習・復習には学習プラットフォームMoodleを利用してください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習、文の構造チェック、単語の下調べ、練習問題、音読等、毎回少しずつ課題を出します。無理なく30分程度でこなせるような内容にしますので、必ず行ってください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:毎回の課題(予習・復習)への取り組み状況、毎回の授業での参加度を点数化します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題、および試験については、授業内、または学習プラットフォームMoodleを利用してフィードバックします。

教科書コメント

毎回プリントを使用します。教室で配布、または各自Moodleからダウンロードしてください。市販の教科書を新たに購入することはありません。すでに持っている初級の文法教科書を活用しましょう。

参考文献コメント

独和辞典を持参してください。ネット上の翻訳アプリなどは意味がないので使用しないこと。初級で用いた文法教科書を活用しましょう。

その他

皆さんの積極的な参加が必要不可欠です。期待しています。
授業前20分、教室または講師控室で、それ以外はメールでの質問を受け付けます。

講義コード	U821001113	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)13		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 西1-202.通年 月曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語圏における様々なテーマ(歴史、社会、生活など)について、ドイツ語テキストを読みながら学んでいくことを目的とした授業です。初級文法を終えた学生を対象として、できるだけ多くのドイツ語を読み、文法事項の確認や語彙の増強を図ります。

到達目標

辞書を引きながらであればある程度のドイツ語読解ができるようになること、またそれによって日本語・英語に加えてドイツ語圏における情報へも目を向け、物事を相対的に判断できるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
-----	----

第1回	Lektion0 自己紹介
第2回	Lektion1 地理と気候(1)文法
第3回	Lektion1 地理と気候(2)テキスト読解
第4回	Lektion2 食生活(1)文法
第5回	Lektion2 食生活(2)テキスト読解
第6回	Lektion3 ドイツ語という言葉(1)文法
第7回	Lektion3 ドイツ語という言葉(2)テキスト読解
第8回	Lektion4 ドイツの大学(1)文法
第9回	Lektion4 ドイツの大学(2)テキスト読解
第10回	Lektion5 祝日と休暇(1)文法
第11回	Lektion5 祝日と休暇(2)テキスト読解
第12回	Lektion6 ドイツの政治制度(1)文法
第13回	Lektion6 ドイツの政治制度(2)テキスト読解
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	1学期の復習
第17回	Lektion7 教育制度(1)文法
第18回	Lektion7 教育制度(2)テキスト読解
第19回	Lektion8 政治制度(1)文法
第20回	Lektion8 政治制度(2)テキスト読解
第21回	Lektion9 ドイツの歴史概観(1)文法
第22回	Lektion9 ドイツの歴史概観(2)テキスト読解
第23回	Lektion10 音楽の国ドイツ(1)文法
第24回	Lektion10 音楽の国ドイツ(2)テキスト読解
第25回	Lektion11 ドイツの宗教事情(1)文法
第26回	Lektion11 ドイツの宗教事情(2)テキスト読解
第27回	Lektion12 二つのドイツ(1)文法
第28回	Lektion12 二つのドイツ(2)テキスト読解
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

クラスの理解度に応じて上記授業計画は修正する可能性があります

授業方

- ・文法を扱う回では教員による解説のあと、適宜グループワークを取り入れ共同で課題に取り組んでいきます
- ・テキスト読解は予習を前提とし、輪読形式で進めます

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 文法: 初級文法教科書等の確認や振り返り/テキスト読解: 授業時に指定された箇所の単語調べ(30分程度)
復習: 授業内で扱ったテキストの訳や間違えていた課題の見直し(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	40 %	前期と後期それぞれに実施する文法課題
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	各回ごとに課される課題に対する評価
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点として、輪読の際に指定された箇所をきちんと理解できているかや、その箇所と関連する文法事項等に関する理解度を評価します。

また、授業内で学習した文法事項に関する小テストを1学期・2学期それぞれ1回ずつ実施予定です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。

試験は採点后、返却と解説を行います。

教科書

知りたいドイツ語 ～読みながらステップアップ～, 斎藤太郎 / Siegfried Kohlhammer, 朝日出版, 2018, 978-4-255-25403-6

参考文献コメント

辞書は必ず毎回持参すること。

また、必要に応じて初級時の教科書も参照してください。

その他

疑問があったら1人で抱え込まずに共有し、お互いに知識をシェアして助け合いながら課題に取り組んでください。教員は最大限サポートしますので、気軽に声をかけてください。いい質問の場合は平常点として加算もします。

連絡は授業時間前後、もしくはG-PortやWebClassを通じて行います。

講義コード	U821001114	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)14		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	岡田 啓美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 西1-102.通年 月曜日 1時限 対面授業		

授業概要

やさしいドイツ語の文章を読み、練習問題をこなすことによって、初級ドイツ語の発音、文法、読解力の定着を目指す。なお、初回は初級文法の復習を行なうので、ベーシックで使用した教科書を持参すること。

到達目標

辞書を使って、自力でドイツ語の文章を読んだり、ドイツ語でコミュニケーションを取れるようになる

授業内容

実施回	内容
第1回	初級文法(ドイツ語の基本構造)・発音の復習、DVD観賞(ドイツという国)
第2回	初級文法の復習(動詞の変化)、DVD観賞
第3回	初級文法の復習(格変化)、DVD鑑賞
第4回	テキスト講読(1)
第5回	テキスト講読(2)
第6回	テキスト講読(3)
第7回	テキスト講読(4)
第8回	テキスト講読(5)
第9回	テキスト講読(6)
第10回	テキスト講読(7)
第11回	テキスト講読(8)
第12回	テキスト講読(9)
第13回	第1学期のまとめ(1) DVD観賞
第14回	第1学期のまとめ(2)
第15回	まとめ
第16回	前期の復習、DVD観賞(オクトーバーフェスト)
第17回	テキスト講読(10)
第18回	テキスト講読(11)、DVD鑑賞(ドイツ再統一)
第19回	テキスト講読(12)
第20回	テキスト講読(13)
第21回	テキスト講読(14)
第22回	テキスト講読(15)、DVD鑑賞(ベルリンの壁崩壊)
第23回	テキスト講読(16)
第24回	テキスト講読(17)
第25回	テキスト講読(18)
第26回	テキスト講読(19)
第27回	テキスト講読(20)
第28回	第2学期のまとめ、DVD観賞(ドイツのクリスマス)
第29回	年間総まとめ
第30回	まとめ

授業計画コメント

上にも書いたとおり、初回は、初級文法の復習・補足説明を行うので、必ずベーシックで使用した教科書を持参すること。辞書は初級で使用したものを引き続き使用して下さい。

授業方

基本は学生諸君がテキストの訳読や練習問題をやる形になりますが、適宜文法説明や関連映像の上映も行なっていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次週授業で進む範囲は指示するので、その範囲はしっかり読んで訳してくること

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% レポート:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は後期初回授業時に返却し、前期の復習に活用します。

教科書

ミニマムドイツ語・レーゼン,熊谷哲哉・大喜祐太,朝日出版社,2023,978-4-255-25465-4

講義コード	U821001115	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)15		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	青木 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1-105.通年 月曜日 4時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語圏における古今さまざまな作家のテキストを精読していきます。易しいテキストから次第に難解なものへと読み進めながら、基礎文法の復習、新たな中級文法も学習していきます。

到達目標

テキストの精読によって正確な読解力を身につけるとともに、ドイツ語圏の著名な作品に触れることで質の高いドイツ語の文章を味わう力をつけたいと思います。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|--------------------------------------|
| 第1回 | オリエンテーション:ドイツ語の歴史を振り返る |
| 第2回 | はじめに:ドイツ人の思想:ことわざと明言 |
| 第3回 | 第一課:モーツァルトの手紙 |
| 第4回 | 第一課:リルケの手紙 |
| 第5回 | 第二課:グリム兄弟『蛙の王様』 |
| 第6回 | 第二課:現在完了と接続法一式 |
| 第7回 | 第三課:ヨハンナ・シュピリ『アルプスの少女ハイジ』 |
| 第8回 | 第三課:命令形 |
| 第9回 | 第四課:ライナー・マリア・リルケ『秋の日』 |
| 第10回 | 第四課:受動文 |
| 第11回 | 第五課:ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ『若きヴェルターの悩み』 |
| 第12回 | 第五課:定関係代名詞 |
| 第13回 | 映画『ゲーテの恋』鑑賞予定 |
| 第14回 | 第六課:ことわざ・名言・アフォリズム |
| 第15回 | 理解度の確認 |
| 第16回 | 第七課:オットフリート・プロイスラー『クラバート』 |
| 第17回 | 第七課:接続法二式 |
| 第18回 | 第八課:フランツ・カフカ『変身』 |
| 第19回 | 第八課:従属の接続詞 |
| 第20回 | 第九課:パウル・ツェラーン『死のフーガ』 |
| 第21回 | 第九課:ドイツ語の詩とは |
| 第22回 | 第十課:リヒャルト・フォン・ヴァイツェッカー『1985年5月8日の演説』 |
| 第23回 | 第十課:非人称のesと再起動詞 |
| 第24回 | 第十一課:ベルンハルト・シュリンク『朗読者』 |
| 第25回 | 第十一課:不定関係代名詞 |
| 第26回 | 第十二課:トーマス・マン『ヴェニスに死す』 |
| 第27回 | 第十二課:形容詞の名詞化 |
| 第28回 | ベートーヴェン:第九交響曲『合唱』、シラー「歓喜によせて」 |
| 第29回 | 日本における第九の歴史 |
| 第30回 | 理解度の確認 |

授業方

通年、対面形式で授業を進めます。履修者各自に音読と日本語訳を担当してもらいます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 予め教科書の該当箇所の日本語訳をノートに書いておくこと(1～2時間)

復習: 不確かだった箇所の確認

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業中の積極的な参加態度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テスト、学期末試験は返却し、授業内で解説します。

教科書

ドイツ語を読む, Susanne Schermann・相原剣, 朝日出版社, 改訂, 2019, 978-4-255-25417-3

講義コード	U821001116	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)16		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	石井 寿子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西2-204.通年 金曜日 2時限 対面授業		

授業概要

各課2回のペースで読み進めます。本文を発音練習し、文法の知識を応用して日本語に訳します。

到達目標

ドイツ人の日常生活を知り、同時にドイツ語のテキストを読みこなせる語学力をつけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	Kapitel 1 Geburt (1)
第3回	Kapitel 1 Geburt (2)
第4回	Kapitel 2 Schule (1)
第5回	Kapitel 2 Schule (2)
第6回	Kapitel 3 Jugendliche in der Gesellschaft (1)
第7回	Kapitel 3 Jugendliche in der Gesellschaft (2)
第8回	Kapitel 4 Jugend und Freizeit (1)
第9回	Kapitel 4 Jugend und Freizeit (2)
第10回	Kapitel 5 Feiertage und Ferien (1)
第11回	Kapitel 5 Feiertage und Ferien (2)
第12回	Kapitel 6 Schulabschluss und Berufsausbildung (1)
第13回	Kapitel 6 Schulabschluss und Berufsausbildung (2)
第14回	第1学期のまとめ
第15回	第1学期のおさらい(解説)
第16回	Kapitel 7 Beruf (1)
第17回	Kapitel 7 Beruf (2)
第18回	Kapitel 8 Studieren in Deutschland (1)
第19回	Kapitel 8 Studieren in Deutschland (2)
第20回	Kapitel 9 Wie junge Leute wohnen (1)
第21回	Kapitel 9 Wie junge Leute wohnen (2)
第22回	Kapitel 10 Heirat
第23回	Kapitel 11 Familie
第24回	Kapitel 12 Haushalt
第25回	Kapitel 13 Arbeitsplatz
第26回	Kapitel 14 Aspekte gesellschaftlichen Lebens
第27回	Kapitel 15 Lebensabend
第28回	第2学期のまとめ
第29回	第2学期のおさらい(解説)
第30回	1年間の復習

授業方

長文をドイツ人と同じスピードで音読する訓練をします。次に日本語に訳していただきます。折に触れドイツ事情を解説します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

必ず事前に読み、解らないところをチェックして、授業で質問して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1・第2学期の筆記試験の結果と平常点を合わせ、60点以上を合格とします。3分の2以上の出席を試験を受ける資格とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

筆記試験は答え合わせと解説をして、正しかったか、どこが間違っていたのかを確認します。

教科書

ドイツ人の一生,ラープ・石井,朝日出版社,改訂,2015,978-4-255-25233-9

講義コード	U821002101	科目ナンバリング	002D323
講義名	ドイツ語R(上級)		
英文科目名	German (Advanced Course; Reading)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 中央-504.通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

テキスト理解を深めるのに必要なドイツ語圏の社会、文化、歴史等に関する知識を踏まえた、高度な読解力を身につけることを目標とする。扱うテキストはできる限り受講者の希望に沿ったものを使用する。テキストの難易度は独検2級～準1級のレベルを想定している。

到達目標

各種のドイツ語文章を、文法を踏まえ、更に、社会や文化、歴史的背景等も考慮し、より深く読み解くことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(1)
第3回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(2)
第4回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(3)
第5回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(4)
第6回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(5)
第7回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(6)
第8回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(7)
第9回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(8)
第10回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(9)
第11回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(10)
第12回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(11)
第13回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(12)
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(13)
第17回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(14)
第18回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(15)
第19回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(16)
第20回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(17)
第21回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(18)
第22回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(19)
第23回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(20)
第24回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(21)
第25回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(22)
第26回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(23)
第27回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(24)
第28回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(25)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

授業方

読解中心になるが、その都度テキストの内容や背景に関し、受講者が意見を述べたり、討論するような形にしたいと思っているので、受講者には積極的に意見や感想を述べて貰いたい。また、最初のテキスト以外は、出来る限り受講者の興味関心に沿ったテキストを読みたいと思っているので、読みたいと思う分野、或いはテキストそのものを遠慮せずに提案して欲しい。出来るだけ多くの文章を読みたいとは思っているが、消化不良を起こしては意味がないので、無理のない進捗で進めるつもりである。

また、時間の許す限りにおいて、テキスト理解やドイツ語圏の生活・文化理解のために、写真等も見ると予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予定した範囲の文章を事前に和訳し、理解する(約2時間)。読み合わせた部分の重要事項を事後に再確認し、覚える(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験は授業で学習した内容を問う問題となるので、予習・復習・授業への参加が大事なポイントになる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書コメント

プリント配布。

参考文献

独和辞典, 富山・他, 郁文堂, 2

独和大辞典, 国松／岩崎・他, 小学館, 2

中級ドイツ文法, 中山豊, 白水社

[改訂版] 詳解ドイツ語文法, 在間進, 大修館書店

講義コード	U821100101	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)1		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1-210.通年 水曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。
 実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。
 初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。
 教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。
 会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)A1を到達目標とします。
 「ごく簡単な表現を聞きとれて、基本的な語句で自分の名前や気持ちを伝えられる」ことから始め、
 「日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる」ようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	出会いの挨拶と別れの挨拶
第2回	自己紹介、出身国とことば
第3回	アルファベット、電話での会話
第4回	ごきげんよう、家族の紹介
第5回	住んでいる場所、1から20まで数える
第6回	人に関して説明する
第7回	物の名前と量
第8回	買い物での会話
第9回	21から100まで数える、好みを表現する
第10回	場所について尋ねる
第11回	住まいを説明する
第12回	満足と不満の表現
第13回	色
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	100から100万までの数
第17回	住まいの広告
第18回	時間の言い方
第19回	曜日の言い方
第20回	日常の行動
第21回	営業時間
第22回	天気、季節
第23回	買い物とレストランでの会話
第24回	同意、反論、否定
第25回	余暇と趣味
第26回	能力
第27回	意図を伝える、意志を伝える
第28回	過去のことを描写する、過去の行動について話す
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

履修者数制限あり。
 第1回目の授業に必ず出席のこと。対面授業で行う予定です。

授業方

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

毎日15分づつ、その週にやったことを復習してください。習った会話が口をついて出てくるようにしましょう。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

Schritte international neu 1 (Kursbuch + Arbeitsbuch) ,Daniela Niebisch,Hueber,978-3-19-301082-7

講義コード	U821100102	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)2		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1-304.通年 水曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とした授業です。ドイツに行った時、ドイツ人と知り合った時に使えるような日常的な会話を通して、ドイツ語の基礎や基本単語・表現を学んでいきます。
教科書以外でもドイツの歌や映像を紹介していきますので、言葉だけでなく、ドイツの社会や文化に対する理解も深めてほしいと思います。

到達目標

あいさつ、自己紹介、買い物、趣味、道を尋ねるなど、ドイツに行った時やドイツ人と知り合った時にまず必要になる会話力を身につけること、辞書を用いて簡単な文章を読めるようになること。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット
第2回	0課 発音
第3回	1課 あいさつ 1
第4回	1課 あいさつ2
第5回	2課 紹介 1
第6回	2課 紹介 2
第7回	2課 紹介 3
第8回	3課 持ち物 1
第9回	3課 持ち物 2
第10回	3課 持ち物 3
第11回	4課 食事 1
第12回	4課 食事 2
第13回	4課 食事 3
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	前期の復習
第17回	5課 家族 1
第18回	5課 家族 2
第19回	6課 好きなこと 1
第20回	6課 好きなこと 2
第21回	6課 好きなこと 3
第22回	7課 ファッション 1
第23回	7課 ファッション 2
第24回	8課 街にて 1
第25回	8課 街にて 2
第26回	9課 休暇 1
第27回	9課 休暇 2
第28回	9課 休暇 3
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方

会話がメインの教科書を使って、文法を確認、パートナー練習やグループ練習で会話表現を練習します。知識の定着のため、各課の最後では小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

語学は反復して勉強するほど身につきます。授業で習った箇所をできるだけ多く音読してください。また、毎回課題(教科書の練習問題、テキストの読解など)を出しますので、必ずやってくるようにしてください(復習と課題で約1時間。できれば、1日にまとめてするのではなく、何回かに分けて勉強してください。)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業態度、課題の提出状況を重視しますので、受講生は必ず課題を行い、授業に積極的に参加してください。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストは次回授業時、学期末試験(第1学期)は第2学期のはじめに返却します。

教科書

クラッセ！ノイ 初級ドイツ語総合読本,谷澤優子,白水社,9784560064214

その他

ドリルや課題の提出にはmanabaを使います。質問等はmanabaのコメント欄またはMoodleからお願いします。

講義コード	U821100103	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)3		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 西1-304.通年 水曜日 3時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とした授業です。ドイツに行った時、ドイツ人と知り合った時に使えるような日常的な会話を通して、ドイツ語の基礎や基本単語・表現を学んでいきます。教科書以外でもドイツの歌や映像を紹介していきますので、言葉だけでなく、ドイツの社会や文化に対する理解も深めてほしいと思います。

到達目標

あいさつ、自己紹介、買い物、趣味、道を尋ねるなど、ドイツに行った時やドイツ人と知り合った時にまず必要になる会話力を身につけること、辞書を用いて簡単な文章を読めるようになること。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット
第2回	発音
第3回	1課 あいさつ 自己紹介等 1
第4回	1課 あいさつ 自己紹介等 2
第5回	1課 あいさつ 自己紹介等 3
第6回	2課 職業等 1
第7回	2課 職業等 2
第8回	3課 友達の紹介等 1
第9回	3課 友達の紹介等 2
第10回	3課 友達の紹介等 3
第11回	4課 食べ物等 1
第12回	4課 食べ物等 2
第13回	4課 食べ物等 3
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	前期の復習
第17回	5課 住まい等 1
第18回	5課 住まい等 2
第19回	6課 家族等 1
第20回	6課 家族等 2
第21回	7課 趣味等 1
第22回	7課 趣味等 2
第23回	7課 趣味等 3
第24回	8課 贈り物等 1
第25回	8課 贈り物等 2
第26回	9課 予定等 1
第27回	9課 予定等 2
第28回	10課 街の中等 1
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方

会話がメインの教科書を使って、文法を確認、パートナー練習やグループ練習で会話表現を練習します。知識の定着のため、各課の最後では小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

語学は反復して勉強するほど身につきます。授業で習った箇所をできるだけ多く音読してください。また、毎回課題(教科書の練習問題、テキストの読解など)を出しますので、必ずやってくるようにしてください(復習と課題で約1時間。できれば、1日にまとめてするのではなく、何回かに分けて勉強してください、)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業態度、課題の提出状況を重視しますので、受講生は必ず課題を行い、授業に積極的に参加してください。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストは次回授業時、学期末試験(第1学期)は第2学期のはじめに返却します。

教科書

シュピッツェ 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語,新倉真矢子他,朝日出版社,978-4-255-25422-7

その他

ドリルや課題の提出にはmanabaを使います。質問等はmanabaのコメント欄またはMoodleからお願いします

講義コード	U821100104	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)4		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	川口 眞理		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-106.通年 木曜日 2時限 対面授業		

授業概要

言語の仕組みを中心に学ぶドイツ語Bに対して、ドイツ語Cでは対話形式のパートナー練習を中心に、日常的な場面で応用の効く「型」となる表現を数多く覚えます。合わせてドイツ語圏社会・文化に関する理解と関心も深めます。

到達目標

日常的な場面での基礎的なドイツ語表現や語彙を理解し、それを発信できるようになります(ドイツ語検定4～3級レベルの会話表現)。

授業内容

実施回	内容
第1回	Lektion 0 Hallo! アルファベット
第2回	Lektion 0 Hallo! 綴りと発音の関係 挨拶 数字
第3回	Lektion 1 Wie heißt du? 動詞の現在人称変化 語順
第4回	Lektion 1 Wie heißt du? seinの人称変化 自己紹介の表現
第5回	Lektion 2 Was ist das? 名詞の性・数・格
第6回	Lektion 2 Was ist das? 定冠詞・不定冠詞の格変化 habenの人称変化
第7回	Lektion 2 Was ist das? 買い物の表現
第8回	Lektion 3 Das Buch gehört mir. 複数形 男性弱変化名詞 人称代名詞の格変化
第9回	Lektion 3 Das Buch gehört mir. 持ち物の所属の表現 時刻の表現
第10回	Lektion 4 Fährst du nach München? 不規則変化動詞 命令形
第11回	Lektion 4 Fährst du nach München? 好き嫌いの表現
第12回	Lektion 5 Meine Familie 所有冠詞 否定冠詞
第13回	Lektion 5 Meine Familie 家族を紹介する表現
第14回	理解度の確認・前期末試験(授業内試験)
第15回	振り返り Sommersemester
第16回	Lektion 6 Wie komme ich zur Post? 前置詞の格支配
第17回	Lektion 6 Wie komme ich zur Post? 物の場所・道案内の表現
第18回	Lektion 7 Wann stehst du morgen auf? 分離動詞・非分離動詞
第19回	Lektion 7 Wann stehst du morgen auf? 一日のスケジュールを伝える表現
第20回	Lektion 8 Kannst du gut Deutsch sprechen? 話法の助動詞
第21回	Lektion 8 Kannst du gut Deutsch sprechen? 従属の接続詞
第22回	Lektion 8 kannst du gut Deutsch sprechen? 依頼・誘い・許可・意志を伝える日常表現
第23回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? zu不定詞句
第24回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? 再帰動詞
第25回	Lektion 9 Wofür interessierst du dich? 相手の意向・関心の対象を尋ねる表現
第26回	Lektion 10 Was hast du am Wochenende gemacht? 動詞の三基本形 過去形
第27回	Lektion 10 Was hast du am Wochenende gemacht? 現在完了形
第28回	Lektion 10 Was hast du am Wochenende gemacht? 過去を語る表現
第29回	理解度の確認・後期末試験(授業内試験)
第30回	振り返り Wintersemester

授業計画コメント

1課を2～3回の授業で進める予定です。各課では文法の解説の後、文法確認練習⇒会話練習⇒会話・作文練習⇒読解練習といった流れで「聴く・話す・読む・書く」力をつけていきます。

授業方

対面授業です。ただし新型コロナなどの事情で一時的に授業がオンデマンド授業に切り替えとなる可能性もあります。その場合は事前に通知します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

原則予習は必要ありませんが、宿題・課題は必ず(1時間～)。また授業で口頭で行った練習は自宅でノートに書き写し、何度も声に出して練習してください。語彙を整理し覚えていく努力も必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート	10 %	課題提出
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	クラス参加の積極性など
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

前後期の期末試験の成績が70%、平常点と提出課題が30%で評価します。各期末試験は、出席が授業数の3分の2を超えていないと受けられません。また遅刻は2回で1回の欠席とみなされます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期末試験と提出課題は講評の上返却します。

教科書

つながるドイツ語 みっとりーべ,中村修/中川拓哉/大澤タカコ,朝日出版社,初,2019,9784255254210

その他

新型コロナ罹患など、出席が困難な状況が続く場合は速やかに相談してください。学期末になってからのいきなりの相談には原則応じられません。

講義コード	U821100105	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)5		
副題	ドイツ語を使ってみよう!		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1-109.通年 火曜日 4時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語に関する基礎知識を学びつつ、それをドイツ語による情報の受信・発信の能力につなげることを目的とする。

到達目標

ドイツ語の Text を読解したり、聞き取ったりする能力や、実際に自分からドイツ語の文を発話したり、書いたりする基礎的な力をつける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、挨拶の言葉
第2回	Lektion 1 あいさつ、つづりと発音 (母音の発音、長母音、二重母音)
第3回	Lektion 1 人と知り合う、つづりと発音 (子音の発音)
第4回	Lektion 1 紹介(名前・出身地・住まい)
第5回	Lektion 1 紹介(職業・趣味)
第6回	Lektion 2 時刻の表現
第7回	Lektion 2 人を誘う
第8回	Lektion 2 食べ物と飲み物
第9回	Lektion 3 所持品
第10回	Lektion 3 道案内
第11回	Lektion 3 家族
第12回	Lektion 4 買い物、値段
第13回	Lektion 4 プレゼント
第14回	第1学期のまとめと補足
第15回	第1学期の学習項目の理解度確認
第16回	第1学期期末試験 --- 解答と解説 ---
第17回	Lektion 5 天候
第18回	Lektion 5 週末の予定
第19回	Lektion 5 一日の行動
第20回	Lektion 6 夏休みの報告
第21回	Lektion 6 過去の出来事(1)
第22回	Lektion 7 位置の表現
第23回	Lektion 7 過去の出来事(2)
第24回	Lektion 7 物語
第25回	Lektion 8 病気
第26回	Lektion 8 計画
第27回	Lektion 8 文の組立て
第28回	Lektion 9 修理・家事
第29回	Lektion 9 開店・閉店時間、まとめと補足
第30回	学習理解度の確認

授業計画コメント

学習者の状況に応じて、授業内容や進行速度などを変更する場合もある。

授業方

講義(場合によっては WebClass か Mail で課題等の受け渡しを行う事もある)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回はきちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却

教科書

アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語,飯田道子/江口直光,三修社,2017

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

講義コード	U821100106	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)6		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 中央-501.通年 金曜日 1時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加してください。「ドイツ語は難しい」という偏見をとりはらって、楽しんで聞いたり話したるするうちに、自然にドイツ語が少しずつ使えるようになります。会話練習だけではなく、ドイツの文化にも触れられるよう、ドイツの音楽、映画、歴史についても授業中に紹介します。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

基本的な会話(例えば、自分や家族の紹介、買い物、仕事など)が出来るようになる。簡単な言葉や表現を使って、質問や説明が出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(1)
第3回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(2)
第4回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(3)
第5回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(1)
第6回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(2)
第7回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(3)
第8回	Lektion 3 食べ物と飲み物(1)
第9回	Lektion 3 食べ物と飲み物(2)
第10回	Lektion 3 食べ物と飲み物(3)
第11回	Lektion 4 住居に関して(1)
第12回	Lektion 4 住居に関して(2)
第13回	Lektion 4 住居に関して(3)
第14回	まとめ
第15回	総括
第16回	第1学期の復習
第17回	Lektion 5 一日の出来事について(1)
第18回	Lektion 5 一日の出来事について(2)
第19回	Lektion 5 一日の出来事について(3)
第20回	Lektion 5 一日の出来事について(4)
第21回	Lektion 6 余暇について(1)
第22回	Lektion 6 余暇について(2)
第23回	Lektion 6 余暇について(3)
第24回	Lektion 6 余暇について(4)
第25回	Lektion 7 趣味と勉強(1)
第26回	Lektion 7 趣味と勉強(2)
第27回	Lektion 7 趣味と勉強(3)
第28回	Lektion 7 趣味と勉強(4)
第29回	まとめ
第30回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみよう。

授業方

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20% 出席および授業への参加度、授業内の小テストで評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International 1 NEU (Kursbuch + Arbeitsbuch),hueber,2016,978-3-19-301082-7

講義コード	U821100107	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)7		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1-305.通年 金曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語Bでは文法を理解し修得するための授業が行われるが、ドイツ語Cはそれを補完しつつ、ドイツ語を使う練習に多くの時間が割かれる。時間の許すかぎり、学生同士での対話練習を行ないたい。

到達目標

簡単な文を聞き取ることができ、まとまった短い文章でも辞書があればおおよそ理解できるようになる。また、表現力も身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツとドイツ語への導入。アルファベット。
第2回	ドイツ語の発音の要領。
第3回	第1課:自己紹介。
第4回	第1課:話し合ってみる。
第5回	第2課:冠詞+名詞を使っているいろいろな言ってみる。
第6回	第2課:話し合ってみる。
第7回	第3課:名詞の格に注意する。
第8回	第3課:話し合ってみる。
第9回	第4課:前置詞を覚える。
第10回	第4課:話し合ってみる。
第11回	第5課:冠詞類と人称代名詞を覚える。
第12回	第5課:話し合ってみる。
第13回	第6課:形容詞の変化いろいろ。
第14回	第6課:形容詞を変化させてみる。
第15回	まとめ。
第16回	第1学期の学期末試験返却と振り返り。
第17回	第7課:助動詞と分離動詞。
第18回	第7課:話し合ってみる。
第19回	第8課:動詞の過去形。接続詞。
第20回	第8課:話し合ってみる。
第21回	第9課:現在完了。
第22回	第9課:話し合ってみる。
第23回	第10課:受動と再帰動詞。
第24回	第10課:話し合ってみる。
第25回	第11課:zu不定詞句。
第26回	第11課:話し合ってみる。
第27回	第12課:関係文(1)。
第28回	第13課:関係文(2)。
第29回	第12・13課:話し合ってみる。
第30回	まとめ。

授業計画コメント

文法を押さえながら、日常的なドイツ語の表現の仕方を理解し覚えてもらいたい。

授業方

毎回、宿題を出し、受講者に参加してもらう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

準備学習(予習・復習)

次の授業時に学習する部分を予習し、準備する。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

普段の勤勉度を評価するために第1学期末試験と平常点をチェックする。だが、外国語の評価で何よりも重視すべきものは、評価時に行なう学年末試験である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に全体に向けてフィードバックする。

教科書

問いかけるドイツ語(新版),大谷弘道、大谷ウルズラ,三修社,初,2017,978-4-384-12293-0 C1084

教科書コメント

このテキストで受講者は、様々な日常的な場面でのドイツ語の言いかたを知り、練習を反復するので、興味を持って学習できるだろう。

講義コード	U821100108	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)8		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 中央-504.通年 火曜日 4時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加してください。「ドイツ語は難しい」という偏見をとりはらって、楽しんで聞いたり話したるするうちに、自然にドイツ語が少しずつ使えるようになります。会話練習だけでなく、ドイツの文化にも触れられるよう、ドイツの音楽、映画、歴史についても授業中に紹介します。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

基本的な会話(例えば、自分や家族の紹介、買い物、仕事など)が出来るようになる。簡単な言葉や表現を使って、質問や説明が出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(1)
第3回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(2)
第4回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など(3)
第5回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(1)
第6回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(2)
第7回	Lektion 2 家族や友達の紹介など(3)
第8回	Lektion 3 食べ物と飲み物(1)
第9回	Lektion 3 食べ物と飲み物(2)
第10回	Lektion 3 食べ物と飲み物(3)
第11回	Lektion 4 住居に関して(1)
第12回	Lektion 4 住居に関して(2)
第13回	Lektion 4 住居に関して(3)
第14回	まとめ
第15回	総括
第16回	第1学期の復習
第17回	Lektion 5 一日の出来事について(1)
第18回	Lektion 5 一日の出来事について(2)
第19回	Lektion 5 一日の出来事について(3)
第20回	Lektion 5 一日の出来事について(4)
第21回	Lektion 6 余暇について(1)
第22回	Lektion 6 余暇について(2)
第23回	Lektion 6 余暇について(3)
第24回	Lektion 6 余暇について(4)
第25回	Lektion 7 趣味と勉強(1)
第26回	Lektion 7 趣味と勉強(2)
第27回	Lektion 7 趣味と勉強(3)
第28回	Lektion 7 趣味と勉強(4)
第29回	まとめ
第30回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみましょう。

授業方

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20% 出席および授業への参加度、授業内の小テストで評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International 1 NEU (Kursbuch + Arbeitsbuch),hueber,2016,978-3-19-301082-7

講義コード	U821100109	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)9		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西2-306.通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

会話中心の教科書を用い、すぐ使えるドイツ語を身につけます。

到達目標

簡単な日常会話を習得できる。自分のこと、家族のこと、身の回りのもの、過去の出来事などについて言えるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス: ドイツ語とは、ドイツ語圏とは。
第2回	0課 発音 1課 あいさつ
第3回	1課 あいさつ
第4回	2課 自己紹介
第5回	2課 自己紹介
第6回	3課 持ち物について述べる
第7回	3課 持ち物について述べる
第8回	4課 食事、買い物、レストランでの注文
第9回	4課 食事、買い物、レストランでの注文
第10回	5課 家族の紹介
第11回	5課 家族の紹介
第12回	6課 自分の好きなことを説明する
第13回	6課 自分の好きなことを説明する
第14回	理解度の確認
第15回	総括
第16回	7課 ファッション 衣服や身の回り品について述べる
第17回	7課 ファッション 衣服や身の回り品について述べる
第18回	8課 街にて 位置関係、道案内
第19回	8課 街にて 位置関係、道案内
第20回	9課 休暇について述べる
第21回	9課 休暇について述べる
第22回	10課 身体 体調について話す 10課 身体 体調について話す
第23回	10課 身体 体調について話す
第24回	11課 活動 過去の出来事や思い出について話す
第25回	11課 活動 過去の出来事や思い出について話す
第26回	12課 天候と統計 天気や日付の表現
第27回	12課 天候と統計 天気や日付の表現 ドイツのクリスマス
第28回	12課 天候と統計 天気や日付の表現
第29回	理解度の確認
第30回	総括

授業方

ペアワーク、グループワークがメインです。積極的な授業参加が求められます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

十分な復習が必要です。

学んだ範囲は必ず声に出して何度も発音する(40分)。
キーフレーズを発音しながら書いて覚える(30分)。
宿題、作文等の課題(40分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点の評価には、自発的な発言など授業への積極的な参加が含まれます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1学期期末テストは返却し、授業内で解説します。

教科書

クラッセ！ノイ 初級ドイツ語総合読本,谷澤優子他,白水社,2,2018,9784560064214

講義コード	U821100110	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)10		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	METZING, Ronald Helmut Er		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1-206.通年 木曜日 4時限 対面授業		

授業概要

授業の重点は日常的なコミュニケーションを問題なく行うための発音練習、身近な事柄についての口頭でのやりとりです。また授業ではドイツ語のみで行われます。グループワーク、インタビュー等の口頭での活動の他、初級ドイツ語を確実にしさらにステップアップするための他の3つの言語能力(聞く、書く、読む)も訓練します。また、文法の要素も重要不可欠です。学生には授業への積極的な参加が要求されます。また、毎回簡単な宿題を出します

到達目標

ドイツ語で的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる。
ドイツ語を発音するための音声学的な基礎を身につける。

日常的に頻繁に使用される簡単な文章を理解し、表現できる。(個人や家族の情報、買い物、仕事など)
身近なシチュエーションで簡単な基本的情報交換ができる
自分の身近な環境や事柄について簡単な言葉で記述することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	アルファベット、挨拶、数字、.....等
第2回	P9-11 第1課、こんにちは、私の名前は…です。
第3回	P12-14 こんにちは、私は…と申します。私の出身は…です。
第4回	P15-17 親称と敬称、つづりは…です。住所は…です。
第5回	P22-24 第2課 私の家族、ご機嫌いかがですか？
第6回	P25-27 こちらは私の兄です。人称代名詞、数。
第7回	P34-36 第3課、食べ物と飲み物、これは…ではありません。
第8回	P37-39 …はありますか？値段、おいくらですか？
第9回	P40-41 私の好物。
第10回	P46-48 第4課 私の住まい、不定冠詞と定冠詞。
第11回	P49-51 家具、色、…はいかがですか？
第12回	P52-53 不動産広告、私の机は…です。
第13回	復習 第1課から第4課
第14回	テスト
第15回	フィードバック
第16回	復習 第1課から第4課
第17回	P58-60 第5課 掃除
第18回	P61-63 時刻の読み方(口語的表現)、朝、昼、晩。
第19回	P64-65 時刻の読み方(公的表現)、ベルリンで何がありましたか？
第20回	P70-72 第6課 天気
第21回	P73-75 チーズはありますか？4格、否定と肯定の表現、余暇。
第22回	P76-77 ドイツ、オーストリア、スイスへの旅。
第23回	P82-83 第7課 学習
第24回	P84-85 私は…ができます、私は…がしたいです。
第25回	P86-87 現在完了(haben支配) 本当に楽しかった。
第26回	P88-89 現在完了(sein支配) 今日は町に行きました。
第27回	P92 おや、まあ、うーん…
第28回	復習 第5課から第7課
第29回	テスト
第30回	フィードバック

授業方

演習..ペアワークによる会話練習を行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

予習..単語の意味を調べる。復習...テキストを読んで内容を理解する。(1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	オンラインテスト
学年末試験(第2学期)	30 %	オンラインテスト
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の積極的な参加を重視。テストはテキストの範囲内で出題。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答案用紙を返却し、解説を行う(最終授業)

教科書

Schritte International neu 1,D. Niebisch,9783193010827

講義コード	U821100111	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)11		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	BRIEL, Rita		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 南1-106.通年 月曜日 4時限 対面授業		

授業概要

アルファベットから始め、簡単な会話やテキストを用いて基本文法と話す力を養う訓練する。会話やテキストには、ドイツについての情報が含まれていて、異文化理解の助けとなる。正しい発音ができるようになるよう留意したい。きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

到達目標

初級のクラスで、ドイツ語の予備知識は必要ありません。文法と学習の仕方は日本語で説明します。家族と友人、飲食、勉強と余暇、買い物と旅行といったテーマについて簡単な表現で話せるようになります。また、これらのテーマについて書かれた簡単な文章を読んで理解できるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	自己紹介授業の説明、成績評価の説明
第2回	つづき、アルファベット発音
第3回	自己紹介とアルファベットの復習15分(口頭あるいは書き記しながら)、第1課 (自己紹介) (人称代名詞 動詞)
第4回	復習15分 (第1、2課) (家族や友達) 動詞と冠詞、冠詞の格変化、疑問文のある疑問文
第5回	復習15分 (第1、2課) 動詞、人称代名詞、所有冠詞(入門)
第6回	復習15分 (第1、2課) 定冠詞、不定冠詞、否定冠詞
第7回	テスト第1-2課、成績評価に大切
第8回	第3課(食べ物、飲み物)、単語と冠詞、不規則動詞、決定疑問文
第9回	復習15分、第3課、否定冠詞、名詞の複数形
第10回	第3課の復習、第4課前半(お住まい) 定冠詞類の使い方、副詞(ここ、そこ)
第11回	第4課の復習、数詞
第12回	第4課の復習、数詞
第13回	ドイツの映画
第14回	第1-4課の復習
第15回	テスト第1-4課
第16回	第1-4課の復習、数詞、第1課の冒頭部分、単語、与格代名詞
第17回	復習15分、第4課後半、形容詞、否定副詞、3格の人称代名詞
第18回	第4課の中の新聞の記事を読む、練習
第19回	復習15分、第5課(私の一日)、時間と時間の前置詞
第20回	復習15分、曜日、分離動詞
第21回	第5課の復習
第22回	テスト第4-5、成績評価に大切
第23回	第6課(暇) 天気、買い物、レストランでの会話、4格の冠詞、代名詞、不規則動詞、
第24回	復習15分、第6課、助動詞/1、ja-nein-doch
第25回	第6課の復習
第26回	復習15分、第7課(外国語を学ぶ、外国語の学び方) 助動詞/2
第27回	復習15分、第7課、現在完了形
第28回	復習15分、第7課、現在完了形続き
第29回	テストの説明 第6課、第7課
第30回	テスト

授業計画コメント

授業計画が変更になる可能性もあります。

授業方

授業方法(対面授業の場合) / Teaching Method (face-to-face lessons)
教科書を基に練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

休まずに出席して下さい。しっかり勉強してテストに臨んで下さい。宿題が出されたときはちゃんとやって下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 中間テスト:20% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 大テストを第1学期に2度、第2学期に2度、小さな単語テストを何度か行う。60点をとることが合格の基準となる。きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行ったあとに学生に採点した試験を返します。

教科書

『Schritte international neu 1 (Kursbuch + Arbeitsbuch)』,D. Niebisch et. al.,Hueber Verlag ,newest ,978-3-19-301082-7

教科書コメント

出来るだけ早く教科書を購入して下さい。

参考文献コメント

特になし

その他

office hour: please contact me: ribrie26@yahoo.de

講義コード	U821100112	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)12		
副題	Das Leben (A1)		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	岡本 順治		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-314.通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

テーマごとに基本的な語彙や表現を身につけ、文法知識を使えるものにします。ドイツ語の入門と基礎固めをしながら「話す」「聞く」「書く」「読む」能力をバランスよく習得することを目標とします。

到達目標

様々な場面(挨拶、喫茶店、街や家族の紹介など)やテーマ(職業、休暇、飲食、洋服、天気など)におけるドイツ語の表現をマスターします。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶表現;アルファベート
第2回	Lektion 1: 自己紹介の表現;疑問詞(wo, woher)と前置詞(in, aus)
第3回	Lektion 2: 住所と電話番号;数字
第4回	Lektion 2+3: 喫茶店での会話;動詞の人称変化
第5回	Lektion 3: 喫茶店での会話;定冠詞と不定冠詞
第6回	Lektion 4: レストラン表現;疑問文と前置詞(mit, ohne)
第7回	Lektion 4+5: 時間の表現;曜日や時間
第8回	Lektion 5: 時間の表現;分離動詞
第9回	Lektion 6: 街を散策する;名詞の複数形
第10回	Lektion 6+7: 場所の表現; 3・4格支配の前置詞
第11回	Lektion 7: 場所の表現; 建物の中の案内
第12回	Lektion 8: 趣味や休暇について語り合う; war と haben の過去形
第13回	Lektion 8: 趣味や休暇について語り合う; 話法の助動詞(können)
第14回	学期末試験
第15回	到達度確認と一学期の振り返り
第16回	Lektion 9: 住居を紹介する; 様々な形容詞表現
第17回	Lektion 9+10: 家族を紹介する; 所有冠詞
第18回	Lektion 10: 家族を紹介する; 現在完了形
第19回	Lektion 11: 体験談を語る; 様々な職業に関する表現
第20回	Lektion 11+12: 料理; 料理に関する表現
第21回	Lektion 12: 料理; 話法の助動詞(müssen)
第22回	Lektion 13: スポーツ; 命令形
第23回	Lektion 13+14: 衣服; 衣服と色に関する表現
第24回	Lektion 14: 衣服; 冠詞の代名詞化
第25回	Lektion 15: 季節と天気; 天気予報、非人称表現(es)
第26回	Lektion 15: 季節と天気; 形容詞の比較表現
第27回	Lektion 16: 旅行; 休暇の計画を話す
第28回	Lektion 16: 旅行; 話法の助動詞(wollen)
第29回	学年末試験
第30回	到達度確認と一年間の振り返り

授業計画コメント

ドイツ語圏文化学科(1年次)のみを対象とした科目で、コミュニケーション演習(初級)1、2と同時履修することになっています。共通の教科書を用い、担当者間で内容や進度の確認をしながら進めていきます。

授業方

授業は基本的に対面で行います。遠隔授業に切り替える必要が生じたら、Zoomを利用した同時配信型の授業を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

単語帳に挙がっている単語は毎回事前に目を通しておくこと。授業時に出た宿題を必ずやること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書の2~3つの課が終わるごとに小テストを授業中に行います。また、学期末または学年末には口頭試験を行います。そのほか、出席、宿題、授業中の参加姿勢を重視します。評価配分は、あくまで目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テスト返却時にコメントします。

教科書

Das Leben (A1.1): Kurs- und Übungsbuch, Cornelsen

Das Leben (A1.2): Kurs- und Übungsbuch, Cornelsen

教科書コメント

以上のテキストはすべてそろえて必ず購入すること。購入方法は新学期ガイダンス時に指示します。

その他

原則として1年次に履修すること。

講義コード	U821100113	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)13		
副題	Das Leben (A1)		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	岡本 順治		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1-314.通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

テーマごとに基本的な語彙や表現を身につけ、文法知識を使えるものにします。ドイツ語の入門と基礎固めをしながら「話す」「聞く」「書く」「読む」能力をバランスよく習得することを目標とします。

到達目標

様々な場面(挨拶、喫茶店、街や家族の紹介など)やテーマ(職業、休暇、飲食、洋服、天気など)におけるドイツ語の表現をマスターします。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶表現;アルファベート
第2回	Lektion 1: 自己紹介の表現;疑問詞(wo, woher)と前置詞(in, aus)
第3回	Lektion 2: 住所と電話番号;数字
第4回	Lektion 2+3: 喫茶店での会話;動詞の人称変化
第5回	Lektion 3: 喫茶店での会話;定冠詞と不定冠詞
第6回	Lektion 4: レストラン表現;疑問文と前置詞(mit, ohne)
第7回	Lektion 4+5: 時間の表現;曜日や時間
第8回	Lektion 5: 時間の表現;分離動詞
第9回	Lektion 6: 街を散策する;名詞の複数形
第10回	Lektion 6+7: 場所の表現; 3・4格支配の前置詞
第11回	Lektion 7: 場所の表現; 建物の中の案内
第12回	Lektion 8: 趣味や休暇について語り合う; war と haben の過去形
第13回	Lektion 8: 趣味や休暇について語り合う; 話法の助動詞(können)
第14回	学期末試験
第15回	到達度確認と一学期の振り返り
第16回	Lektion 9: 住居を紹介する; 様々な形容詞表現
第17回	Lektion 9+10: 家族を紹介する; 所有冠詞
第18回	Lektion 10: 家族を紹介する; 現在完了形
第19回	Lektion 11: 体験談を語る; 様々な職業に関する表現
第20回	Lektion 11+12: 料理; 料理に関する表現
第21回	Lektion 12: 料理; 話法の助動詞(müssen)
第22回	Lektion 13: スポーツ; 命令形
第23回	Lektion 13+14: 衣服; 衣服と色に関する表現
第24回	Lektion 14: 衣服; 冠詞の代名詞化
第25回	Lektion 15: 季節と天気; 天気予報、非人称表現(es)
第26回	Lektion 15: 季節と天気; 形容詞の比較表現
第27回	Lektion 16: 旅行; 休暇の計画を話す
第28回	Lektion 16: 旅行; 話法の助動詞(wollen)
第29回	学年末試験
第30回	到達度確認と一年間の振り返り

授業計画コメント

ドイツ語圏文化学科(1年次)のみを対象とした科目で、コミュニケーション演習(初級)1、2と同時履修することになっています。共通の教科書を用い、担当者間で内容や進度の確認をしながら進めていきます。

授業方

授業は基本的に対面で行います。遠隔授業に切り替える必要が生じたら、Zoomを利用した同時配信型の授業を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

単語帳に挙がっている単語は毎回事前に目を通しておくこと。授業時に出た宿題を必ずやること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書の2～3つの課が終わるごとに小テストを授業中に行います。また、学期末または学年末には口頭試験を行います。そのほか、出席、宿題、授業中の参加姿勢を重視します。評価配分は、あくまで目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テスト返却時にコメントします。

教科書

Das Leben (A1.1): Kurs- und Übungsbuch, Cornelsen

Das Leben (A1.2): Kurs- und Übungsbuch, Cornelsen

教科書コメント

以上のテキストはすべてそろえて必ず購入すること。購入方法は新学期ガイダンス時に指示します。

その他

原則として1年次に履修すること。

講義コード	U821100114	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)14		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1-209.通年 木曜日 4時限 対面授業		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科1年次の指定クラスです。読解力の養成に重点を置きながら、ネイティブ教員によるコミュニケーション授業と初級文法の授業を連携させることを狙いとします。従って、文法練習や発音に関する練習も行います。ドイツ語B(初級)11もしくは12を合わせて履修することが望ましいです。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになる。基本的な表現を使った会話ができ、聞き取りができるようになる。

授業内容

実施回 内容

- | 実施回 | 内容 |
|------|----------------------------------|
| 第1回 | ガイドンス、アルファベート、あいさつ(1)、ドイツ語の発音(1) |
| 第2回 | 「第1課 さあ行くよ、ライプツィヒ！」(1) |
| 第3回 | 「第1課 さあ行くよ、ライプツィヒ！」(2)、 |
| 第4回 | 「第2課 シューベルト家」(1) |
| 第5回 | 「第2課 シューベルト家」(2) |
| 第6回 | 「第3課 町の中で」(1) |
| 第7回 | 「第3課 町の中で」(2) |
| 第8回 | 「第4課 ミキの一日」(1) |
| 第9回 | 「第4課 ミキの一日」(2) |
| 第10回 | 「第5課 動物園での一日」(1) |
| 第11回 | 「第5課 動物園での一日」(2) |
| 第12回 | 「第6課 受診」(1) |
| 第13回 | 「第6課 受診」(2) |
| 第14回 | 理解度の確認 |
| 第15回 | まとめ |
| 第16回 | 「第7課 ミキの誕生日」(1) |
| 第17回 | 「第7課 ミキの誕生日」(2) |
| 第18回 | 「第8課 シュロス・プロシュヴィッツ」(1) |
| 第19回 | 「第8課 シュロス・プロシュヴィッツ」(2) |
| 第20回 | 「第9課 ライプツィヒにあるドイツの歴史」(1) |
| 第21回 | 「第9課 ライプツィヒにあるドイツの歴史」(2) |
| 第22回 | 「第10課 ドレスデン」(1) |
| 第23回 | 「第10課 ドレスデン」(2) |
| 第24回 | 「第11課 環境」(1) |
| 第25回 | 「第11課 環境」(2) |
| 第26回 | 「第12課 帰国」(1) |
| 第27回 | 「第12課 帰国」(2) |
| 第28回 | 「第12課 帰国」(3) |
| 第29回 | 理解度の確認 |
| 第30回 | まとめ |

授業計画コメント

復習・宿題は必ずしてきてください。

授業方

ほぼ教科書の順序に従って、各課の会話文を音読・訳読し、文法の学習、練習問題をやった後、散文(Lesetext)の音読と訳読を行います。ビデオ教材も活用します。随時質問を受け付けるので、理解できない点や不明な点があれば、積極的に質問してください。また授業の最初にはほぼ毎回テストを行います。すぐに使えるセンテンスなどを覚えていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所の予習と出された宿題は必ずやってくること。(約2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	90 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

小テストと平常点から総合的に評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘します。

教科書

ドイツ語の時間<わくわくライブツィヒ> ,清野智昭,朝日出版社,初,2023,9784255254609

講義コード	U821100115	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)15		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 中央-502.通年 木曜日 2時限 対面授業		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科1年次の指定クラスであり、読解力の養成に重点を置きながら、ネイティブ教員によるコミュニケーション授業と初級文法の授業を連携させることを狙いとする。従って、文法練習や発音に関する練習も行う。ドイツ語B(初級)11もしくは12を合わせて履修することが望ましい。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになる。基本的な表現を使った会話ができ、聞き取りができるようになる。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|---|
| 第1回 | ガイドンス、アルファベート、あいさつ(1)、ドイツ語の発音(1) |
| 第2回 | ドイツ語の発音(2)、数詞、あいさつ(2)等 |
| 第3回 | 「第1課 さあ行くよ、ライプツィヒ！」(1) |
| 第4回 | 「第1課 さあ行くよ、ライプツィヒ！」(2)、「第2課 シューベルト家」(1) |
| 第5回 | 「第2課 シューベルト家」(2) |
| 第6回 | 「第3課 町の中で」(1) |
| 第7回 | 「第3課 町の中で」(2) |
| 第8回 | 「第4課 ミキの一日」(1) |
| 第9回 | 「第4課 ミキの一日」(2) |
| 第10回 | 「第5課 動物園での一日」(1) |
| 第11回 | 「第5課 動物園での一日」(2) |
| 第12回 | 「第6課 受診」(1) |
| 第13回 | 「第6課 受診」(2) |
| 第14回 | 理解度の確認 |
| 第15回 | まとめ |
| 第16回 | 「第7課 ミキの誕生日」(1) |
| 第17回 | 「第7課 ミキの誕生日」(2) |
| 第18回 | 「第8課 シュロス・プロシュヴィッツ」(1) |
| 第19回 | 「第8課 シュロス・プロシュヴィッツ」(2) |
| 第20回 | 「第9課 ライプツィヒにあるドイツの歴史」(1) |
| 第21回 | 「第9課 ライプツィヒにあるドイツの歴史」(2) |
| 第22回 | 「第10課 ドレスデン」(1) |
| 第23回 | 「第10課 ドレスデン」(2) |
| 第24回 | 「第11課 環境」(1) |
| 第25回 | 「第11課 環境」(2) |
| 第26回 | 「第12課 帰国」(1) |
| 第27回 | 「第12課 帰国」(2) |
| 第28回 | 「第12課 帰国」(3) |
| 第29回 | 理解度の確認 |
| 第30回 | まとめ |

授業計画コメント

授業に臨んで、予習・復習・宿題は必ずやること。

授業方

ほぼ教科書の順序に従って、各課の会話文を音読・訳読し、文法の学習、練習問題をやった後、散文(Lesetext)の音読と訳読を行う。

また、時間の許す限りでドイツの風習などを紹介する写真等も見る予定。随時質問を受け付けるので、理解できない点や不明な点があれば、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所の予習と出された宿題は必ずやってくること。(約2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験だけではなく、小テストや平常点も加味して、総合的に評価するので、普段の学習を怠らないことが重要である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

ドイツ語の時間<わくわくライブツィヒ> ,清野智昭,朝日出版社,初,2023,9784255254609

講義コード	U821100116	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)16		
副題	コミュニケーション力をつけよう		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	飯田 道子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-302.通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

初心者向けのクラスです。初級文法、基本単語・表現、正確なイントネーションと発音など、話す・聴く・書く・読むの4技能の訓練をバランスよく配置しながら、基礎的なコミュニケーション力の養成をめざします。

到達目標

初級文法に関する知識を身につけ、簡単な日常会話や、自分のことについて表現できるコミュニケーション力を養成します。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入。授業の概要説明。簡単な自己紹介
第2回	第1課 あいさつ・自己紹介 : 動詞の現在人称変化(規則変化動詞)
第3回	第1課 動詞の現在人称変化(sein) : 疑問文の種類と答えかた
第4回	第2課 人を誘うときの表現 : 動詞の現在人称変化(haben, 不規則変化動詞)
第5回	第2課 時を表す表現 / 食べ物 : ドイツ語の語順
第6回	第3課 所持品: 名詞の性, 冠詞
第7回	第3課 家族のこと : 所有冠詞
第8回	第4課 買い物で用いる表現 : 名詞と冠詞の3格
第9回	第4課 人称代名詞の格変化
第10回	第5課 週末の予定 : 分離動詞
第11回	第5課 一日の行動の表現 : 話法の助動詞
第12回	第5課 非人称の表現
第13回	夏休みの予定
第14回	授業のまとめ
第15回	まとめとふり返し
第16回	夏休みは何をした? 文法ふりかえり
第17回	第6課 過去の出来事を話す : 動詞の三基本形
第18回	第6課 過去の出来事を話す : 現在完了の作り方
第19回	第6課 過去の出来事を話す : 位置の表現・前置詞
第20回	第7課 過去の出来事の表現: 過去時制の作り方
第21回	第7課 過去の出来事の表現: 過去時制
第22回	第8課 病気: 副文
第23回	第8課 計画: 再帰代名詞
第24回	第9課 修理: 受動文
第25回	第9課 家事: 形容詞の用法
第26回	第10課 別れ : 接続法
第27回	第10課 非現実の表現
第28回	非現実のことを話す
第29回	授業のまとめ
第30回	まとめとふり返し

授業計画コメント

テキストの文法を習得すると共に、それを使ってドイツ語での表現ができるように練習していきます。

授業方

パートナー練習を中心に表現練習をくりかえし行って、ドイツ語による表現能力を高めていきます。随時視覚的題材をとりいれて、ドイツとヨーロッパに関する理解を深めていきたいと考えています。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

文法事項を復習しておくこと

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト	35 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	授業への積極的な参加度
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等)、学年末試験、中間的な確認度テストを総合的に勘案して評価します

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内にフィードバックします

教科書

アプファールト・ノイ スキットで学ぶドイツ語,飯田道子・江口直光,三修社,2015,9784384122817

参考文献コメント

授業のはじめに辞書を紹介しますので、必携のこと。

講義コード	U821100117	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)17		
副題	コミュニケーションで学ぶ基礎ドイツ語		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	小倉 直子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-204.通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

文法の基礎を学びながら、ペアワークやグループワークで実践的な会話練習を行い、ドイツ語の「聞く」「話す」「読む」「書く」力を総合的に養っていきます。文法としては、現在完了形・過去形までを扱います。ドイツの文化や生活にも親しみがもてるよう、ドイツの年中行事なども随時、紹介していきます。

到達目標

ドイツ語圏で買い物をしたり、公共交通機関で移動したりできるようになる。小さな困りごと(道を尋ねる、薬局で薬を買うなど)はドイツ語で解決できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業ガイダンス、アルファベット、基本的な挨拶、発音
第2回	自己紹介(名前、出身地、居住地等)
第3回	調子を尋ねる、数字(~10 000)
第4回	国と言語
第5回	大学の専攻や授業について話す
第6回	好きな食べ物
第7回	食文化
第8回	趣味と余暇①
第9回	趣味と余暇②
第10回	第1学期前半のまとめ
第11回	家族・親戚
第12回	家族を紹介する
第13回	持ち物
第14回	買い物をする
第15回	第1学期のまとめ
第16回	夏休みの出来事①
第17回	夏休みの出来事②
第18回	住まいについて話す①
第19回	住まいについて話す②
第20回	時刻表現
第21回	一日の行動、「時」の表現
第22回	第2学期前半のまとめ
第23回	道を尋ねる、道案内をする
第24回	公共交通機関にまつわる表現
第25回	したいこと・する予定のこと①
第26回	したいこと・する予定のこと②
第27回	思い出話①
第28回	思い出話②
第29回	天気
第30回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

各学期に2～3回程度、単語テストや小テストを行います。

授業方

演習形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、その日の授業で扱った内容に関する宿題を出します。宿題には必ず取り組み、理解できていない箇所がないか確認をしてください。(1~2時間程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各学期の期末試験、授業内に行う単語テスト・小テスト、および授業参加度から総合的に判断します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

単語テストおよび小テストは授業中に返却・解説されます。

教科書

新・スツェーネン1,佐藤修子他,三修社,初,2022,978-4-384-12308-1

新・スツェーネン1 ワークブック,佐藤修子他,三修社,初,2017,978-4-384-12294-7

教科書コメント

充実した練習問題を通じ、実践的に「聞く」「話す」「読む」「書く」力が身につくように工夫された教科書です。

参考文献

クラウン独和辞典,三省堂,第5,2013,978-4-385-12011-9

アクセス独和辞典,三修社,第4,2021,978-4-384-06000-3

参考文献コメント

初級から中級学習者向けの辞書です。

講義コード	U821100118	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)18		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	岡田 啓美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-102.通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

やさしいドイツ語の文章を読み、練習問題をこなすことによって、初級ドイツ語の発音、文法の定着を目指し、会話力を養成する。同時にビデオ上映などを交えて、ドイツおよびドイツ語圏の国々についての理解も深めたい。

到達目標

ドイツ語の基本構造、発音を学び、辞書の助けを借りてドイツ語でコミュニケーションを取れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツについて(DVD鑑賞)、辞書の紹介、アルファベット
第2回	アルファベット、発音の基本、DVD鑑賞
第3回	発音練習、数詞、ドイツ語のあいさつ
第4回	動詞の現在人称変化、DVD鑑賞(ドイツとEU)
第5回	テキスト講読、自己紹介
第6回	名詞の性と冠詞
第7回	テキスト購読、DVD鑑賞
第8回	名詞の性と格変化、複数形
第9回	テキスト購読、DVD鑑賞(ベルリン)
第10回	不規則動詞、命令形、人称代名詞の3、4格
第11回	テキスト購読
第12回	前置詞、テキスト購読
第13回	第1学期の総まとめ、DVD観賞
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	学期末試験返却、第1学期の復習、DVD観賞(オクトーバーフェスト)
第17回	冠詞類
第18回	テキスト購読、DVD鑑賞(ドイツ再統一)
第19回	分離動詞・非分離動詞、副文
第20回	話法の助動詞、テキスト購読
第21回	テキスト購読
第22回	テキスト購読、DVD鑑賞(ベルリンの壁崩壊)
第23回	動詞の三基本形、過去形
第24回	テキスト購読
第25回	現在完了
第26回	テキスト購読
第27回	再帰表現
第28回	第2学期のまとめ。ドイツのクリスマスについて(DVD・CD観賞他)
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業方

テキストの購読、練習問題を学生諸君にやってもらうとともに、会話のペア練習も随時行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次回授業で学生諸君にやってもらう練習問題や課題を指示するので、指示された範囲はきちんと答えられるように準備していくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 小テスト、提出課題等は履修人数、進度によって実施の有無・回数が変わってきますが、これらは平常点として評価します。レポート:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は後期初回授業時に返却し、前期の復習に活用します。レポート(夏休みの課題)は後期授業中に返却・解説を行います。

教科書

つながるドイツ語 みっとリーベ,中村修、中川拓哉、大澤タカコ,朝日出版社,2019,978-4-255-25421-0

講義コード	U821100119	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)19		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-202.通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

この授業ではドイツ語を初めて学ぶ人を対象に、簡単な会話表現やDVD教材を用いた聞き取り、発音の練習をしていきます。また、使用するDVD教材にはドイツの日常風景がテーマごとに収録されており、語学学習と同時にドイツ語圏の文化や社会について関心をもってもらうことも目的としています。少しでも第二外国語学習のモチベーションを高めてもらうために、できるだけ無理なく楽しく授業していきたいと思えます。

到達目標

- ・ドイツ語の発音規則を理解し、つづりを見て正しく発音できるようになること
- ・短い会話を聞き取り、スペルを正しく書き取ることができるようになること
- ・2分程度の簡単な自己紹介(名前、出身、趣味など)が、ドイツ語でできるようになること

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット
第2回	ドイツ語発音の基本的な規則
第3回	Lektion 1 Markt (1) 市場(1)
第4回	Lektion 1 Markt (2) 市場(2)
第5回	Lektion 2 Bier und Wein (1) ビールとワイン(1)
第6回	Lektion 2 Bier und Wein (2) ビールとワイン(2)
第7回	Lektion 3 Drinnen und draußen (1) 中と外(1)
第8回	Lektion 3 Drinnen und draußen (2) 中と外(2)
第9回	Lektion 4 Sehenswürdigkeiten (1) 名所(1)
第10回	Lektion 4 Sehenswürdigkeiten (2) 名所(2)
第11回	Lektion 5 In der Stadt (1) 町中で(1)
第12回	Lektion 5 In der Stadt (2) 町中で(2)
第13回	ドイツ語で自己紹介(1): 前期学習内容を用いた作文・発音練習
第14回	ドイツ語で自己紹介(2): 発表(1分程度)
第15回	まとめ
第16回	Lektion 6 Alte Städte (1) 旧市街(1)
第17回	Lektion 6 Alte Städte (2) 旧市街(2)
第18回	Lektion 7 Brot (1) パン(1)
第19回	Lektion 7 Brot (2) パン(2)
第20回	Lektion 8 Fußball (1) サッカー(1)
第21回	Lektion 8 Fußball (2) サッカー(2)
第22回	Lektion 9 Berlin (1) ベルリン(1)
第23回	Lektion 9 Berlin (2) ベルリン(2)
第24回	Lektion 10 Kulturvielfalt (1) 文化の多様性(1)
第25回	Lektion 10 Kulturvielfalt (2) 文化の多様性(2)
第26回	Lektion 11 Weihnachten クリスマス
第27回	Lektion 12 Umwelt 環境
第28回	ドイツ語自己紹介(3): これまでの学習内容を用いた作文・発音練習
第29回	ドイツ語自己紹介(4): 発表(2分程度)
第30回	まとめ

授業方

ペアワークやグループワークを中心に、発音に重点を置いた練習を行います。また、映像教材や音声教材などにより、簡単なドイツ語を聞き取れるように練習します。各Lektion終了時に、聞き取りや会話を主とした小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

小テスト準備(30分)、宿題(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	80 %	全10回実施予定で、その平均点を算出
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	20 %	ドイツ語で自己紹介(発表)

成績評価コメント

- ・ 各回ごとに実施する小テストが主な成績評価対象となりますので、必ず毎回受験するようにしてください。授業冒頭の15分間程度で行います。
- ・ 小テストはLektionの区切りごとに実施するので、ガイダンスや発音回を除くと隔週での実施となります。聞き取り問題の都合上、遅刻や欠席に対する対応はできませんので、0点となります。注意してください。
- ・ 最後の課題は「ドイツ語で自分の事について2分間程度話す」こととなります。そのための表現練習を1年間通して授業内で行いますので、授業にきちんと参加さえしていれば簡単にクリアできます。頑張りましょう。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。

教科書

ドイツ・サラダ[DVD付],保阪良子,朝日出版社,2010,9784255253336

参考文献コメント

ドイツ語辞書は必ず購入・持参すること。

その他

WebClass上の掲示板やメッセージ機能を通じて連絡をしてください。

講義コード	U821100120	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)20		
副題	自己表現のためのドイツ語		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	鎌倉 澄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 中央-505.通年 月曜日 2時限 対面授業		

授業概要

初学者を対象とする授業です。日常に起こりうる様々なシチュエーションでコミュニケーションができるよう、話す、書く、聞く、読む能力を総合的に養成します。文法はコミュニケーションに必要と思われるものを随時確認しますが、原則として他に文法の授業を受講してください。ドイツ語学習を通して、自分自身の世界を広げましょう。

到達目標

自分と自分の身の回りのことについてドイツ語で表現できるようになる。身近な話題について、他の人と対話ができるようになる。ドイツ語で書かれた比較的平易な文章を読み、理解することができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入①:ドイツ語とドイツ語圏、挨拶、授業で使う表現
第2回	第1課:自己紹介と相手の情報を尋ねる文(1人称、2人称、疑問詞)
第3回	第1課:飲み物の注文、好きな飲み物(応用表現)
第4回	小テスト、復習(練習を通して更なる定着を図ります) 第1課:人と知り合う①
第5回	第1課:人と知り合う②(疑問文と答え方、応用練習)
第6回	小テスト、復習 第2課:挨拶、親しい間柄の人との会話①(2人称親称)
第7回	第2課:親しい間柄の人との会話②、数(不規則動詞)
第8回	第2課:第三者の紹介(3人称、不定詞句から文を作る)
第9回	小テスト、復習 第3課:身近なものの名称(名詞、名詞の性)
第10回	第3課:私の部屋(名詞の1格と4格)
第11回	第3課:行き先表現
第12回	小テスト、復習 時刻の表現 第4課:助動詞を使った文①(したいこと、しなければならないこと)
第13回	第4課:助動詞を使った文②(していいこと、してはいけないこと)
第14回	第1学期理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	夏期課題発表 第5課:不定詞句から文を作る
第17回	第5課:一週間のスケジュール(曜日、分離動詞)
第18回	第5課:身近なものに対する意見(形容詞、人称代名詞4格)
第19回	第6課:待ち合わせの場所(前置詞)
第20回	第6課:ピクニックへの持ち物(名詞の複数形)
第21回	小テスト、復習 第7課:コンパの後で(現在完了)
第22回	第7課:昨日の出来事(現在完了練習)
第23回	第8課:クリスマス(読解)、プレゼントを贈る(3格と4格)
第24回	小テスト、復習 第9課:大晦日の晩(読解)
第25回	第9課:大晦日と新年(受動態)
第26回	第10課:休暇と旅行(副文)
第27回	第11課:お別れパーティー(過去形)
第28回	第12課:願望(接続法)
第29回	第2学期理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

上記授業計画はあくまで予定です。参加者の状況によって、進度・内容共に変更することがあります。

授業方

グループワーク、ペアワーク中心に、ドイツ語を使いながら覚えていきます。個人やグループでの発表も毎回あります。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回必ず復習を行ってください。出てきたフレーズを声に出してみたり、実際に使ってみたり、また自分の状況を当てはめて言い換えたり(書き換えたり)してみましょう。発音が心配ならCDを聞いて確認しましょう。指示された課題は、30分以内でこなせる内容ですので、授業前までに必ずやっておいてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への参加度、課題への取り組み状況、小テストの結果を点数化して平常点とします。

学年末、学期末の試験(課題)には、個人発表・グループ発表が含まれます。

全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価はしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題、および試験については、授業内、または学習プラットフォームMoodleを利用してフィードバックします。

教科書

自己表現のためのドイツ語1<プラス>,板山真由美、塩路ウルズラ、元河裕子、吉満たか子、三修社,2020,978-4-384-12303-6 C1084

参考文献コメント

授業中に指示します。

その他

学習プラットフォーム「Moodle」を利用します。大学のネットワークにログインできるよう、アカウントを取得しておいてください。

講義コード	U821100121	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)21		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 西1-107.通年 土曜日 2時限 対面授業		

授業概要

会話形式の練習を通して、ドイツ語の表現を習得を試みます。

到達目標

発話・聞き取り練習によりドイツ語運用能力の基礎を身に付け、簡単な会話ができるようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス ドイツ語の単語の発音について(1)
第2回	ドイツ語の単語の発音について(2)
第3回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(1)
第4回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(2)
第5回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(3) 自分や他人の紹介をする練習(1)
第6回	自分や他人の紹介をする練習(2)
第7回	自分や他人の紹介をする練習(3) 自分の持ち物について話す練習(1)
第8回	自分の持ち物について話す練習(2)
第9回	自分の持ち物について話す練習(3) 買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(1)
第10回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(2)
第11回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(3) 家族のことを紹介する練習(1)
第12回	家族のことを紹介する練習(2)
第13回	家族のことを紹介する練習(3) 文法事項の確認練習
第14回	まとめ
第15回	全体の振り返り
第16回	自分の好きなことについて話す練習(1)
第17回	自分の好きなことについて話す練習(2)
第18回	自分の好きなことについて話す練習(3) 衣服や身の回りの品物について話す練習(1)
第19回	衣服や身の回りの品物について話す練習(2)
第20回	衣服や身の回りの品物について話す練習(3) 位置関係を説明する練習、道案内をする練習(1)
第21回	位置関係を説明する練習、道案内をする練習(2)
第22回	時刻の表現練習 休暇について話す練習(1)
第23回	休暇について話す練習(2)
第24回	休暇について話す練習(3) 体にかかわること、体調について話す練習(1)
第25回	体にかかわること、体調について話す練習(2)
第26回	体にかかわること、体調について話す練習(3) 過去の出来事を話す練習(1)
第27回	過去の出来事を話す練習(2)
第28回	過去の出来事を話す練習(3) 文法事項の確認練習
第29回	全体の振り返り
第30回	まとめ

授業方

グループワークならびに講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を目を通して、練習内容を確認しておいてください。(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、グループワーク、課題提出がポイントとなります。
進度に応じ、小テストを行います。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えはコメント・解説を加えて、返却します。

教科書

クラスセ！ ノイ 初級ドイツ語総合読本(CD付),谷澤優子、白木和美、ガブリエラ・シュミット,白水社,2018,9784560064214

その他

独和辞典が必要となります。

初学者向きとして以下の辞書があげられます。

『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

講義コード	U821100122	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)22		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 西1-104.通年 土曜日 2時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語初学者のための授業です。ドイツ語の会話表現を身につけることを目標とします。基本的な文法もおさえつつ、日常的な表現を覚えていきましょう。

到達目標

ドイツ語の基本的な会話表現を学び、活用できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定、授業の進行についてのガイダンス、ドイツ語の文字や発音についての簡単な説明を行います。
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介
第3回	Lektion 1 人称変化
第4回	Lektion 2 専攻、職業、国籍
第5回	Lektion 2 人称変化3人称
第6回	Lektion 3 持ち物、数詞
第7回	Lektion 3 冠詞類
第8回	Lektion 4 食べ物、飲み物
第9回	Lektion 4 冠詞類4格
第10回	Lektion 5 家族
第11回	Lektion 5 所有冠詞、人称代名詞
第12回	Lektion 6 趣味、動詞
第13回	Lektion 6 不規則変化動詞、命令形
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	既習事項の復習
第17回	Lektion 7 休暇
第18回	Lektion 7 話法の助動詞
第19回	Lektion 8 服装、贈り物
第20回	Lektion 8 3格を使った表現
第21回	Lektion 9 建物、街
第22回	Lektion 9 前置詞を使った表現
第23回	Lektion 10 1日の行動、時刻
第24回	Lektion 10 分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞
第25回	Lektion 11 身体、病気
第26回	Lektion 11 過去形、現在完了形
第27回	Lektion 12 天候
第28回	Lektion 12 従属接続詞、比較級・最上級
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

受講者の理解度によって実施回は前後することがあります。社会の状況によってはすべて遠隔授業に切り替える可能性があります。

授業方

授業ではパートナー練習や音声メディアを使ったヒアリング等を行います。原則として予習は必要ありませんが、その分受講者には集中して授業を受けることが求められます。コミュニケーション能力は語学力だけによるものではありません。積極的に授業に参加しましょう。(教室内での社会的距離は十分にとることになります。)

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習として授業内で練習した会話表現を、最低1回は実際に声に出して発音しましょう。また、教科書内の問題を復習の課題として指定することがあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学習した事項が試験で出題されます。
授業内の会話練習に対してあまりにも消極的な態度が見られた場合は平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語 ノイ,新倉真矢子, 亀ヶ谷昌秀, 正木晶子, 中野有希子, 郁文堂, 2015, 9784261012781

参考文献

アクセス独和辞典, 在間進, 三修社, 4, 2021, 978-4-384-06000-3
クラウン独和辞典, 濱川祥枝, 信岡資生, 新田春夫, 三省堂, 5, 2014, 978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。自学自習のためにも必要です。特に指定はしませんが必ず辞書は持っておきましょう。

講義コード	U821100123	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)23		
副題	ドイツ語初心者のためのコミュニケーション入門		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1-206.通年 木曜日 3時限 対面授業		

授業概要

ドイツ語初心者対象のクラスです。音の世界から入門ドイツ語の世界にはっていきます。授業では、教科書に従って口頭コミュニケーションに重点をおきます。あらかじめ音声を聞き練習する、宿題があれば必ずやってくる事が求められます。必要に応じて文法事項の説明をします。

到達目標

ドイツ語技能検定試験4級合格程度の力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者確定。授業の進め方についてのガイダンス、教科書紹介、発音
第2回	教科書の構成・音声ダウンロードの紹介、ドイツ語発音の特徴、英語との大きな相違点などの説明
第3回	ABC、発音の注意および練習
第4回	場面、相手、時間帯に応じた挨拶表現
第5回	自分の名前を言う、相手の名前を聞く動詞の現在人称変化、挨拶表現の練習
第6回	相手をどう呼ぶか？(ファーストネーム？ファミリーネーム？そして人称代名詞は？)
第7回	自己紹介(出身、住まい、職業)
第8回	自己紹介(大学出の専攻、年齢)；数字の言い方
第9回	食べる・飲む(注文や希望、好き嫌い)
第10回	自分や相手の趣味について語る
第11回	自分が学習した(している)言語、話せる言語、できるようになりたい言語
第12回	中間試験：筆記及び口頭のテスト
第13回	筆記試験解答の返却とコメントおよび質問受けつけ
第14回	ショッピング(ブティックの場合)
第15回	到達度確認
第16回	「これは何か？」「これはドイツ語で何と言うか」の表現練習
第17回	名詞の性数格
第18回	家族紹介(親族名称、所有冠詞、人称代名詞)
第19回	写真などを例に家族について語る
第20回	旅行(どこに行きたいか、何をしたいか、～はどこにあるのか？)
第21回	旅行(～しても構わないか？、～できる？)
第22回	前置詞入門(会話や音声を聞きながら前置詞を意識する)
第23回	「場所」を示すときの前置詞の練習
第24回	「移動先」を示すときの前置詞の練習
第25回	日常生活において、どこに住んでいるのか(勉強しているのか、バイトしているのか)？ どんな交通手段でどこに行っているのか？ 時間はどれ位かかるのか？
第26回	アドベント、クリスマス、誕生日(日付や曜日の言い方)
第27回	中間試験：筆記及び口頭のテスト
第28回	筆記試験解答の返却とコメントおよび質問受けつけ
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度確認

授業計画コメント

履修者の理解度に応じて進めていきます。そのため、上記に挙げた項目全てを取り上げない場合もあります。また、教科書から離れた会話練習や作文練習なども行う可能性もあります。

授業方

対面授業で行います。全体説明、個別・ペア・グループなどテーマや履修者数にに合わせます。会話と発音を重視しますので、積極的に声を出すことを求めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回宿題(書く、聞く、話す練習など)を出します。宿題は全員ができてくることを前提とします。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト	30 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	70 %	出席、宿題、発音
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

積極的な授業参加(発言や質問)、発音の練習と宿題をきちんとしているかどうか、各学期に実施する中間テストの結果を総合的に判断して成績評価をします。

なお全体(通年)の授業回数3分の一回以上の欠席をした場合、単位取得はできません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

筆記試験の解答は教室で返却し、ミスが多かった事項については授業中に解説します。口頭試験のフィードバックの方法は履修者数によって異なります。

教科書

新 トライ・ドイツ語,市川宏子、椛島則子、清水薫,同学社,新版初,2022,978-4-8102-0747-7

教科書コメント

教科書は必ず購入してください。

その他

全学LMS(Moodle使用の予定)を利用して、教師から履修者全員あるいは個別に連絡します。皆さんも私への連絡にはその機能をご利用ください。詳細は授業開始時に説明いたします。

講義コード	U821101101	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)1		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	METZING, Ronald Helmut Er		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 5時限 西1-206.通年 木曜日 5時限 対面授業		

授業概要

授業の重点は日常的なコミュニケーションを問題なく行うための発音練習、身近な事柄についての口頭でのやりとりです。また授業ではドイツ語のみで行われます。グループワーク、インタビュー等の口頭での活動の他、初級ドイツ語を確実にしさらにステップアップするための他の3つの言語能力(聞く、書く、読む)も訓練します。また、文法の要素も重要不可欠です。学生には授業への積極的な参加が要求されます。また、簡単な宿題を出します。

到達目標

日常的に頻繁に使用される表現や簡単な文章を理解し、使用できる。自己と他者の紹介をすることができる。他者に身の回りのことについて質問することができ、(どこに住んでいるか、どんな人と知り合いか、何を持っているかなど)そのような質問に答えることができる。相手がゆっくりとはっきり話をすれば理解することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	自己紹介、IXページ 最初の授業、94-95ページ 第8課職業
第2回	Seite 96-98 A 理学療法士、B いつ職業教育を受けましたか。
第3回	Seite 99-101、C 私はまだ…、D インターンシップ市場とアルバイト市場、E 電話口で。
第4回	Lektion 9. Seite 106-108 旅の途上で A 申込書に記入しなければなりません。
第5回	Seite 109-111、B 見て！、C あなたは運転できます、D インフォメーションパンフレット。
第6回	Seite112-113 D 部屋の予約。
第7回	Lektion 10, Seite 118-120, 健康と病気、A あなたの目がいたい。
第8回	Seite121-123 B 私たちの目はとても青い、C 鎮痛剤を飲むように言われています、D 問い合わせ。
第9回	Seite 124-125, D4 Eメールを読んでください、E 会う約束。
第10回	Lektion 11, Seite 130-132 町中で、A 次を左に曲がってください。
第11回	Seite 133-134 B 私たちは車でいきます、C 橋の手前を左です。
第12回	Seite 135-136 D 私たちはヴァルタのところへ行きます。
第13回	Seite 137 E 駅で。
第14回	テスト
第15回	フィードバック
第16回	復習 第8課-第11課
第17回	Lektio 12 Seite 142-144 顧客サービス、A 講習のすぐあとに…。
第18回	Seite 145-147 B 1か月後に入ります、C それを少し見せていただけますか、D 電話での情報。
第19回	Seite 148-149, E 日常のサービス。
第20回	Lektion 13 Seite 154-156, 新しい服、A ララ、あそこのジャケットを見て！すごく素敵じゃない。
第21回	Seite 157-159 B そのジャケットはあなたにぴったりだわ、C で、これは、こっこのほうがいい。
第22回	Seite 160-161 D どれ？これ、E デパートで。
第23回	Lektion 14 Seite 166-168, パーティー、A 1月15日に…。
第24回	Seite 169, B おじいちゃん、大好き！
第25回	Seite 170 C 送別会をします。
第26回	Seite 171 D 招待。
第27回	Seite172-173 お祝いとお祝いの言葉
第28回	復習 第12課-第14課
第29回	テスト
第30回	フィードバック

授業方

演習...ペアワークによる会話練習

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

予習...単語を調べる、復習...テキストを読み内容を理解する(1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	オンラインテスト
学年末試験(第2学期)	30 %	オンラインテスト
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の積極的な参加を重視。テストはテキストの範囲内で出題。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは返却し、最終授業で解説を行う。

教科書

Schritte International neu 2,D. Niebisch,9783196010824

講義コード	U821101102	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)2		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-102.通年 火曜日 1時限 対面授業		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらにドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。教科書は、実践的でカフフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
-----	----

- | | |
|------|-----------------------------|
| 第1回 | 仕事について話す |
| 第2回 | 過去と現在についての情報交換、過去の行動についての報告 |
| 第3回 | 広告を読む |
| 第4回 | 指示をする |
| 第5回 | アドバイスをする |
| 第6回 | 許可されていることと禁止されていることについて話す |
| 第7回 | 情報誌を理解する、ホテルの受付での会話 |
| 第8回 | 体の部分 |
| 第9回 | 外見を描写する |
| 第10回 | 手紙を書く |
| 第11回 | 会う約束をする |
| 第12回 | 道を探ねる |
| 第13回 | 場所を指示する |
| 第14回 | 理解度の確認 |
| 第15回 | まとめ |
| 第16回 | 場所と方向を規定する |
| 第17回 | 時刻表とアナウンスを理解する、駅で情報を求める |
| 第18回 | 日付を理解する、言う |
| 第19回 | サービスを頼む |
| 第20回 | 丁寧な依頼 |
| 第21回 | 電話のアナウンスを理解する |
| 第22回 | 洋服、満足と不満を言い表す |
| 第23回 | 好みと評価を言い表す |
| 第24回 | デパートでの会話 |
| 第25回 | 日付を探ねる、言う |
| 第26回 | 人や物について話す |
| 第27回 | 理由を述べる |
| 第28回 | お祝いを述べる |
| 第29回 | 理解度の確認 |
| 第30回 | まとめ |

授業計画コメント

対面授業で行います。

授業方

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

その週に習ったことを毎日くり返して復習してきてください。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

Schritte international Neu 2 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch, Daniela Niebisch, Hueber, 978-3-19-601082-4

講義コード	U821101103	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)3		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	BRIEL, Rita		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 南1-106.通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

これまで学んだことをしっかり身につけ、深めます。ドイツ語を聞き取り、話すことを学びます。ドイツの日常的な文化を知り、理解することを学びます。

到達目標

例えば、仕事、外国旅行、体と健康、買い物、ファッション、休暇に関係する中級レベルのドイツ語を聞き取り、話し、読むために必要な技能が身につきます。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業の説明、自己紹介、文法の復習（特に動詞、代名詞、冠詞）
第2回	第1課 Beruf und Arbeit 教科書の説明、単語のリスト、sein, heißenの過去形
第3回	復習15分 第1課 前置詞（時間）、練習
第4回	復習15分 第1課 前置詞, Beruf und Arbeitについてのテキスト
第5回	復習15分 第2課 In einer fremden Stadt、単語のリスト、話法の助動詞
第6回	復習15分 第2課ホテルでの会話、Touristeninformation、代名詞 man、練習
第7回	テスト
第8回	復習15分 第10課 Gesundheit、単語のリスト、所有冠詞、手紙を書く
第9回	復習15分 第10課 医者での期日を決める、体の部分 練習
第10回	復習15分、第11課 In der Stadt unterwegs、単語のリスト、地図を読む、前置詞（場所、方向）、道の案内
第11回	復習15分、第11課、前置詞の練習
第12回	復習15分、第11課、前置詞の練習
第13回	復習15分、教科書のエキストラページを読む
第14回	復習15分、第10、11課、練習
第15回	テスト第10、11課
第16回	第12課 Der Kunde ist König、前置詞（時間）、敬語
第17回	復習15分 第12課、分離動詞、買い物の会話
第18回	復習15分 第12課の練習
第19回	復習15分 第13課 Mode、単語のリスト、gefallen、疑問代名詞
第20回	復習15分 第13課 3格の人称代名詞、3格を取る動詞
第21回	復習15分 第13課 練習
第22回	テスト 第12、13課
第23回	第13課 形容詞の比較級、指示代名詞
第24回	復習15分、第13課練習
第25回	復習15分、第14課Feste、単語のリスト、序数、接続語 denn、動詞 werden
第26回	復習15分、第14課、日付の練習、4格の代名詞
第27回	復習15分、第14課、練習、映画前半
第28回	復習15分、映画後半
第29回	復習第13、14、15課
第30回	テスト

授業方

授業方法(対面授業の場合) / Teaching Method (face-to-face lessons)
教科書を基にして練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

休まずに出席して下さい。毎回教科書を持ってきて下さい。しっかり勉強してテストに臨んで下さい。宿題が出されたときは期限内

に提出して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行ったあとに学生に採点した試験を返します。

教科書

Schritte international Neu 2 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch: Schritte international ,D. Niebisch et.al., Hueber Verlag, newest, 978-3-19-601082-4

教科書コメント

出来るだけ早く教科書を購入して下さい。

その他

office hour. Please contact me: ribrie26@yahoo.de

講義コード	U821101104	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)4		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 中央-501.通年 金曜日 2時限 対面授業		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらに実践的な日常会話の習得を目指していきます。昨年度の私のC(初級)の授業「ドイツ語を話そう! 1」の既習者でなくとも、ドイツ語の初級知識がある人であれば誰でも大歓迎です。間違えを恐れず、楽しく積極的にドイツ語を話すことで、初級で学んできたことが実際に「使える!」と実感できるようになるはず。実際にドイツを訪れたり、日本でドイツ人と話すときに様々なことを表現できるよう、日常会話の中で役立つ練習を楽しく行います。ドイツの文化にも触れられるよう、授業中にドイツの音楽、映画、歴史について紹介します。またドイツ語でEメールを書く練習などもします。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみようという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

この授業を1年受講すると、おおよそ以下のことがドイツ語で出来るようになります。 1)日常生活の場面での簡単な質問や指示、短い会話を理解することができる 2)短い伝達事項や掲示、広告などから、自分にとって重要な情報を取り出すことができる 3)数字や量、時間や値段を言ったり、理解したりすることができる 4)簡単なものであれば、所定の用紙に記入することができる 5)短い個人的な文章を書くことができる 6)会話で自己紹介をしたり、質問に答えたりすることができる 7)身近な状況で質問やお願いをしたり、それらに反応したりすることができる

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 8 職業と仕事(1)
第3回	Lektion 8 職業と仕事(2)
第4回	Lektion 8 職業と仕事(3)
第5回	Lektion 9 知らない街で(1)
第6回	Lektion 9 知らない街で(2)
第7回	Lektion 9 知らない街で(3)
第8回	Lektion10 健康と体(1)
第9回	Lektion10 健康と体(2)
第10回	Lektion10 健康と体(3)
第11回	Lektion 11 道案内(1)
第12回	Lektion 11 道案内(2)
第13回	Lektion 11 道案内(3)
第14回	まとめ
第15回	総括
第16回	第1学期の復習
第17回	Lektion 12 お客様は神様(1)
第18回	Lektion 12 お客様は神様(2)
第19回	Lektion 12 お客様は神様(3)
第20回	Lektion 12 お客様は神様(4)
第21回	Lektion 13 新しい洋服(1)
第22回	Lektion 13 新しい洋服(2)
第23回	Lektion 13 新しい洋服(3)
第24回	Lektion 13 新しい洋服(4)
第25回	Lektion 14 パーティー、お祭り(1)
第26回	Lektion 14 パーティー、お祭り(2)
第27回	Lektion 14 パーティー、お祭り(3)
第28回	Lektion 14 パーティー、お祭り(4)
第29回	まとめ
第30回	総括

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみよう。

授業方

Lecture, Speaking Drills, Moodle (E-Learning)

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International NEU 2 (Kursbuch + Arbeitsbuch), Daniela Niebisch, Hueber, 2016, 978-3-19-601082-4

講義コード	U821101105	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)5		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西2-506.通年 木曜日 3時限 対面授業		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。初級で習得した文法事項を復習しながら、構文・語順・語の用法などを扱う中級文法へとステップアップし、ドイツ語による、より自在な表現力を身につけていきます。同時に、ドイツ語という言語に対する興味・理解を深めていくことを目指します。

到達目標

中級程度のドイツ語文法事項の習得、ならびに、ドイツ語による表現力・作文能力の向上を目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	はじめに・既習事項のチェック
第2回	接続法第1式
第3回	接続法第2式
第4回	練習問題
第5回	語順の考え方
第6回	練習問題
第7回	否定の仕方
第8回	練習問題
第9回	従属文
第10回	関係文
第11回	練習問題
第12回	zu不定詞句の使い方
第13回	練習問題
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	受動態
第17回	練習問題
第18回	再帰動詞
第19回	練習問題
第20回	動詞や形容詞と特定の前置詞の組み合わせ、など
第21回	練習問題
第22回	形容詞の名詞化
第23回	練習問題
第24回	分詞の用法・冠飾句
第25回	練習問題
第26回	冠詞の使い方
第27回	練習問題
第28回	機能動詞構造
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業方

受講者が課題に対し解答し、それに解説を加える形で進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

教材に説明されている文法事項に目を通し、ドイツ語の例文を読み、作文その他の課題の解答を考えてきて下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書コメント

教材はプリントを使用します。初級で使った文法の教科書と辞書は必ず毎回持参して下さい。

講義コード	U821101106	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)6		
副題	ドイツ語中級文法・作文		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1-208.通年 水曜日 2時限 対面授業		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。

1年次に学習した初級文法では深く追えなかった一歩進んだ文法・表現を学習します。復習にせよ新たに学ぶにせよ、どんな文法事項も自分自身がドイツ語で表現したり、ドイツ語の文を読んだりするときに実際に使えるかどうか重要です。

到達目標

ドイツ語文法への理解を深め、読解・作文に生かせるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	時制、文
第2回	並列接続詞、man
第3回	語順(1)
第4回	分離動詞・非分離動詞、完了形
第5回	否定
第6回	接続法I、間接話法
第7回	接続法II、非現実話法
第8回	否定
第9回	冠詞
第10回	語順(2)
第11回	従属接続詞
第12回	関係文
第13回	前置詞(1)
第14回	前期学習分理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	前置詞(2)
第17回	分離動詞(2)
第18回	分詞、冠飾句
第19回	視点の取り方
第20回	さまざまな 前綴り
第21回	3格、再帰動詞
第22回	無生物主語
第23回	意見表明の表現
第24回	話法の助動詞
第25回	心態詞
第26回	副文表現と前置詞+名詞の書き換え
第27回	論理展開(1)
第28回	論理展開(2)
第29回	前期学習分理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

以上の授業予定はあくまでも学習項目の目安です。順番や学習時間数は参加者の様子を見て適宜変更します。

授業方

授業中は文法事項の解説と、課題として指定した練習問題の解説・答え合わせを行います。指名された人が黒板・ホワイトボードに解答を書き、教員に添削されます。辞書は必ず持って来て下さい。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業中、予習・復習になる練習問題を課題として指定するので必ずやってきてください。教科書とは別にプリントも使用します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート	0 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

試験では授業中に扱った項目が出題されます。普段の授業への取り組みがそのまま試験に反映されると思います。平常点は、授業中の問題演習への取り組みが評価されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後に模範解答を配布します。疑問点があれば個別に答えます。

教科書

ドイツ語を書いてみよう！[改訂版],清野智昭,白水社,2016,978-4-560-06417-7

教科書コメント

教科書の他にプリントを使用します。

参考文献

独和大辞典コンパクト版,岩崎英二郎、小野寺和夫、国松孝二、三城満禧、千石喬ほか,小学館,第2版,1999,978-4-095-15032-7

[改訂版]詳解ドイツ語文法,在間進,大修館書店,2006,978-4-469-21307-2

参考文献コメント

試験の際は辞書持ち込みを認めますが、スマートフォンやタブレットの辞書アプリは認めません。新たに辞書を買う場合は、一年次よりもレベルの高いものを買ってみましょう。

初級文法に自信のない者は、一年次に使用した文法の教科書を常に開けるようにしておくといよいでしょう。専門の文法解説書には、初級文法教科書には書かれていない知識も載っています。後々のためにもっておくのも手です。

その他

この授業はドイツ語圏文化学科指定クラスですから他学科の学生にとってはやや難易度の高い内容になりますが、一歩踏み込んだドイツ語表現を学びたい学生なら誰でも歓迎します。

講義コード	U821101107	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)7		
副題	正しいドイツ語を書く訓練		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	清野 智昭		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西2-506.通年 月曜日 3時限 対面授業		

授業概要

この授業では、初級文法を復習しつつ、正しいドイツ語を書く訓練をします。ドイツ語の文を作るためには何が分かっているか、分からないかをやさしく解説していきます。語形変化などの形のみを練習するのではなく、ドイツ語の語感を身につけていきます。

到達目標

表現意図に応じた正しいドイツ語の文を作れるようになるのが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入: 授業の進め方と一般的な注意
第2回	第1課 まずは主語と定動詞を決める
第3回	第1課 自己紹介の練習
第4回	第2課 ドイツ語らしい語順
第5回	第2課 趣味を言う練習
第6回	第3課 否定文の作り方、1課2課の小テスト
第7回	第3課 好き嫌いを言う練習
第8回	第4課 冠詞を正しく使おう
第9回	第4課 身体の調子や病気について言う練習
第10回	第5課 情報の流れを考える、3課4課の小テスト
第11回	第5課 子どもの時のことを語る練習
第12回	第6課 空間の位置関係の表し方
第13回	第6課 行き方を説明する練習
第14回	5課6課の小テスト、まとめと復習
第15回	到達度確認
第16回	1学期の復習 1学期の復習
第17回	第7課 前置詞を使いこなそう
第18回	第7課 時間を表現する練習(1)
第19回	第8課 視点の取り方
第20回	第8課 時間を表現する練習(2)
第21回	第9課 人と物の表し方、7課・8課の小テスト
第22回	第9課 意見を述べる練習
第23回	第10課 予定を言う練習 第10課 話法でニュアンスを付け加える
第24回	第10課 第10課 予定を言う練習 第10課 予定を言う練習
第25回	第11課 名詞化する、第9課・第10課の小テスト
第26回	第11課 論理的に書く練習
第27回	第12課 ドイツ語らしい論理展開を心がける
第28回	第12課 論理的に話す練習
第29回	11課・12課の小テスト、まとめと復習
第30回	到達度確認

授業計画コメント

教科書として『ドイツ語を書いてみよう!』(清野智昭著、白水社)を用い、1学期に前半の6課、2学期に後半の6課を扱います。

授業方

参加者は、次回の授業で扱う範囲の例文を予め訳し、各自、期限までに提出してもらいます。授業でそれらの文を取り上げ、説明

を加えます。また、グループワークも取り入れ、ドイツ語で表現する練習をします。

準備学習(予習・復習)

予習として、次回の授業で扱う部分の例文を訳し、担当教官に提出します。課題の難易度と本人のドイツ語力によりますが、1時間～2時間の時間が必要になります。復習は、授業で訳し、確認した文を暗記して使えるようにします。1時間程度の時間が必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト	60 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書2課分ずつ小テストを実施していき、計3回の合計点を成績評価の60%とします。この小テストでは正確にドイツ語文を作れるかを評価します。期末にレポートを課し、特定のテーマについてドイツ語で文章を書いてもらい、これを20%の成績にします。このレポートでは、正しいドイツ語が使えているか、内容に即した表現ができているかを評価の対象とします。平常点(20%)では、出席はもちろんのこと、毎回の課題をきちんと提出しているか、授業中、積極的に参加しているかを評価の対象とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題については毎回の授業で取り扱う。レポートについてはコメントを付し、LMSを通じ提出者にフィードバックする。

教科書

ドイツ語を書いてみよう！[改訂版],清野智昭,白水社,2016,978-4-560-06417-7

参考文献コメント

参考文献は授業中に指示します。

その他

課題をきちんとこなすことはもちろん、授業中積極的に疑問点を質問し、また、自分でも調べることを要望します。「やる気はあるけど、ドイツ語が今一つよくわからない」という学生を助ける授業にします。学生との連絡はLMSを基本としますが、オフィスアワーに質問に来てくれることも歓迎します。

講義コード	U821102101	科目ナンバリング	002D322
講義名	ドイツ語C(上級)		
英文科目名	German (Advanced Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1-102.通年 火曜日 2時限 対面授業		

授業概要

中級コミュニケーションまでに学んだことを基礎として、さらに総合的なドイツ語運用能力を身につけることを目的とします。聞き取り、発話、語彙を増やすことなど、総合的な練習をします。最初の授業で、参加者の力と興味に応じて、テキストを決定します。Schritte international の4, 6のいずれかにします。教科書が決定して届くまで、最初のうちはコピーを配布します。

到達目標

明瞭な通常のドイツ語であれば、仕事や趣味や生活など日常的な事柄についてのドイツ語の発言や文章が理解できるようにします。例えば、旅行中に出会うさまざまな出来事に対して、必要な対応ができ、また、自分の経験や夢・希望・目標などについて話すことができることを目指します。さらに、自分に身近なテーマがあれば、意見を述べたり、その論拠を説明したりできるようにします。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション。参加者と簡単な会話をしながら、教科書を決めます。コピーを配布し、授業を行います。
第2回	教科書 第1項目
第3回	教科書 第1項目
第4回	教科書 第2項目
第5回	教科書 第2項目
第6回	教科書 第3項目
第7回	教科書 第3項目
第8回	教科書 第4項目
第9回	教科書 第4項目
第10回	教科書 第5項目
第11回	教科書 第5項目
第12回	教科書 第6項目
第13回	教科書 第6項目
第14回	理解度の確認
第15回	まとめ
第16回	教科書 第7項目
第17回	教科書 第7項目
第18回	教科書 第8項目
第19回	教科書 第8項目
第20回	教科書 第9項目
第21回	教科書 第9項目
第22回	教科書 第10項目
第23回	教科書 第10項目
第24回	教科書 第11項目
第25回	教科書 第11項目
第26回	教科書 第13項目
第27回	教科書 第13項目
第28回	教科書 第13項目
第29回	理解度の確認
第30回	まとめ

授業計画コメント

対面で授業を行います。

授業方

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

その週に習ったことを毎日かならずくり返して復習してください。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 出席、参加態度:40% 授業への参加態度も重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書コメント

Schritte international Neu 3 もしくはそれより上級のテキスト

講義コード	U821200101	科目ナンバリング	002D524
講義名	ドイツ語セミナー		
英文科目名	German (Seminar)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	4	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1-210.通年 水曜日 2時限 対面授業		

授業概要

このセミナーでは、学生が司会をしてさまざまなテーマについて討論したり、議論を文章にまとめたりすることが中心になります。12のテーマを取り上げます。例えば「メルヒェンは残酷か?」、「お金は人を幸せにするか?」、「一神教それとも多神教?」、「100年後の日本」などです。
 時事的なテキストを使って聞き取りの練習も行います。
 成績は出席と授業態度の積極性、および学期末の筆記試験によって評価します。
 テキストはこちらで用意します。

到達目標

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)B1程度の会話力の習得を目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	Unterricht Einführung 授業導入
第2回	Kann man im Schlaf eine Sprache lernen? 語学は睡眠学習できる?
第3回	weiter
第4回	Ins Berufsleben nach der Oberschule? 高校卒業後の職業の道へ
第5回	weiter
第6回	Hörverstehen 聞き取り
第7回	Sind Märchen grausam? メルヒェンは残酷?
第8回	weiter
第9回	Monotheismus oder Polytheismus? 一神教 または 多神教?
第10回	weiter
第11回	Hörverstehen 聞き取り
第12回	Macht Geld glücklich? お金で幸せになれる?
第13回	weiter
第14回	Wiederholung 復習
第15回	Schriftliche Prüfung 筆記試験
第16回	Meine Traumwohnung 夢の住まい
第17回	weiter
第18回	Meine Traumreise 夢の旅
第19回	weiter
第20回	Hörverstehen 聞き取り
第21回	Japan in 100 Jahren 100年後の日本
第22回	weiter
第23回	Was würdest du tun, wenn du den Jackpot knacken würdest? 宝くじで大当たりしたら何をする?
第24回	weiter
第25回	Mein Buch für die Insel 島に持って行く本
第26回	Hörverstehen 聞き取り
第27回	Was würdest du machen, wenn du der letzte Mensch auf der Erde wärst? 地上で最後の人になったら、何をする?
第28回	Soll man ein Auslandsstudium machen? 留学はすべき?
第29回	Hörverstehen 聞き取り
第30回	Schriftliche Prüfung 筆記試験

授業計画コメント

対面で授業を行います。

授業方

テキストを配布します。そのテーマについてディスカッションを行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

ディスカッションができるように準備してきてください。具体的な予習、復習については授業時に指示します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。